(一) 號十六百九千二第 (明治三十九年九月第三種郵便物認可) THE KEIJO NIPPO 日二月二十年四正大 (版三第)

京城日報

一日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢(郵送前金)一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓 但し拾錢▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲欄內一行金一圓以上▲場所指定一行金拾錢增▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧川直

印刷人 谷口政太郎

京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話 編輯 二四五番・一二四番 營業 二二六番・六三番
振替貯金口座京城一六〇〇番

歐洲大戰亂

▲新發展を見る可き羅馬尼國境

伯林來電に據れば獨公報は塞國に於ける獨軍側の目的が既に完結したることを發表したり情報に據れば今やマツケンゼン軍は急速に羅國々境に輸送せられつゝありと是れ豫期せられつゝある露軍の勃國侵入に備へん爲めなるべく巴爾幹の戰局は此の方面に新發展を見るべしと豫想せらる未だ露國陸兵の上陸なきも露國艦隊はヴアルナ港沖に出沒しつゝあり(紐育電報)

▲希臘の回答滿足か

聯合軍の第二通牒に對する希臘の回答は一般に滿足なるものと信ぜらる然れども尚ほ今後の交渉をなしつゝある模樣なり(紐育電報)

▲形勢危殆 モナスチール

サロニカ來電に曰くモナスチールの形勢は危殆に瀕し官憲は同市を退去せりされどウアシツチ中佐は飽く迄死守する決心頗る堅し(紐育電報)

◎授爵發表

一日午前九時宮內大臣官房に於て左の如く授爵記授與せられたり(東京特電)

京都府知事正三位勳一等 大森鍾一
正三位勳一等法學博士 穗積陳重
大審院長法學博士正三位勳一等 横田國臣
貴族院議員從三位勳一等 田中芳男
東京帝國大學總長從三位勳一等理學博士 山川健次郎
正五位勳四等 三井高保
從五位勳二等 大倉喜八郎
勳三等 古河虎之助
勳四等 森村市左衛門

勳功ニ依リ特ニ男爵ニ授ク

雜報

◎支那新帝國と淸室

支那政府は將來國體變更後に於ける淸室優待條件に就き屢々淸室と籌議せるが此程左の三辨法に據ることに略決定したりと(北京)

(一)淸室優待條件は民國より淸室と商議し永遠に效力あるものとす未來の新帝國は既に民國より變更せるものに係るを以て該條件は乃ち繼續して有效とす

(二)未來の新帝國は淸室優待條件に對して翻譯を承認す但し其中條文が帝制と抵觸する者は修改するも可し

(三)淸室優待條件は國體變更後更に須く一次宣布し或は新帝國憲法中に記載す

◎段氏中央交涉

段奉天上將軍轉任說は既電の如くなるが支那官場に於ては右を打消し段氏の上京を以て單に東三省要政に關して近く出發すべしと傳へ居れり而して其の中央と商議の要政なるものは下の如しと傳へらる(奉天)

△大總統に面陳の要政
一、國體に就き秘密商議の件
二、國體改革後に於ける外交方針

△各部に面商の要件
一、東三省實業振興に就き農商部と商議の件
二、特別省制實行に就き財政部と商議の件
三、東三省官制に就き政事堂內務部と磋商の件

◎奉天國議員複選

國民會議々員の複選擧は延期されたるが奉天に於ては來る十日と決定したり被選擧人員は十名にして投票方法は記名たる可く二十六日公布さる選擧資格者は約八百名あり昨今續々奉天に來著しつゝあり(奉天)

◎定欵大修正と其影響

候補者の的外れ―認可は二日夜又は三日朝

京城商業會議所の定款認可に就ては何しろ選擧期日の切迫に餘儀なくせられ當局も亦大に其の事情を參酌し客月二十六日以來殆んど連夜の如く定款の審議會議を開き十二時乃至一時頃迄起案者たる大村書記長を始め秋山參事官青木商工課長の人々等鳩首凝議する所あり其結果現存の內鮮商業會議所定款をも參考として之を取捨し二十九日午後に至り爰に全く日本唯一の模範定款を作成し直ちに一件書類を纏めたる上東京なる寺內總督の許に決裁を仰ぐ可く送致したり

▲全く面目一新す 同定款は曩に創立委員より提出したるものと其精神に於ては素より同一なれども全般に渉り修正を加へられ就中評議員の選擧に關する條項にありては全然既報のものとは面目を一新したるもの、如く從つて目下盛んに運動を行ひ居れる一級二級の評議員候補者も或は其運動畫策の全く徒勞に終らんとする懸念なきにしもあらず殊に一級よりの候補者又は當然二級より出づ可き者にして更らに一級の地盤をも窺はんとする者にありては一層如上の懸念無き能はずと云ふ

▲總督よりの飛電 兎にも角にも選擧期日は刻一刻と切迫し來り居れることゝて東京に郵送したる一件書類も一日夜總督の手許に到著する筈なれば早くば二日夜遲くとも三日朝迄には電報にて認可決裁の報に接する筈なり創立事務所にありても此豫定にて著々準備に怠りなく既に選被選擧人名簿其他全部の用意周到し居れば今は早總督の飛電一通に依りて愈々京城の逐鹿界は忽ち活氣を帶び來る可し

▲候補者の消息 飜つて一方候補者側に於ける目下の形勢如何と窺ふに客月上旬來創立委員の意嚮が必ず年內に選擧を斷行すべしとの消息を知るや直ちに要處々々に當りを付けて內々の裡に運動を開始し居たるが其後屢次本紙の記事に依りて認可さる可き定款の內容が申請書に添附したるものよりも著しく修正さるゝと仄聞したるため俄に狼狽し始め作戰計畫を變へるやら參謀會議を開くやら此處暫時暗中模索の悲劇喜劇を演じ居れり果して如何に落著く可きか選擧の幕の開かれぬ先こそお樂しみなれ

◎製造煙草の將來

鮮內製造煙草事業に關しては工業界中に大要を記載せしが更に斯業に就き詳述せんに朝鮮人は由來喫煙の嗜好深く消費額亦從つて多額に上るは鮮人の知る處にして本業に取りては朝鮮は實に好箇の一市場たること言を俟たず、而して其喫用する卷煙草は從來一々內地或は支那上海等より輸移入せられたるも日露戰役後京城市內に煙草の製造事業勃興し斯業累年進展して製造年額五百萬圓內外を算し今や鮮內需要の大部分は此等の手より供給せらるゝに至れり現今朝鮮に於て大規模に斯業を經營せるは東亞煙草株式會社、國江商會、朝鮮煙草株式會社等にして東西煙草商會、大石商會、前之園商會等之れに亞ぎ東西煙草商會を除くの外は何れも內地人の經營に係り、又產額の如きも大正三年中の總額四百七十萬圓の中內地人の製造額は四百三十萬七千餘圓、即ち全額の約九割を占め殆んど獨占の姿に在り、而して之れ等製造に供する原料葉煙草も總督府の指導奬勵と民間耕作者の眼勉努力とに依り品質大に改善せられ產額著しく增加して克く其需要を供給して餘あるに至れり朝鮮に於ける煙草の需要は將來益々增加す可く原料の供給亦前記の如く潤澤なるに加へ近時支那方面に對して其販賣を擴張するに至り大正三年中に於ける同方面への輸出額は二十七萬八千圓を算せり、之れを大正二年中の五萬三千圓に比すれば實に六倍の激增にして朝鮮に於ける斯業の前途は極めて有望なりと謂はざる可からず

◎特赦人員調査

鮮內各裁判所及び監獄にては十二月末日迄に特赦を受く可き者と認めたるものを總督府に申請し總督府にては之れを審査の上一月末日迄に上奏するの運びと成り居れるも今日迄に申請ありたるものは僅に四五件に過ぎず、而かも之れ等は何れも書式不備等の爲め返戾又は照會中にして審査終了せるものは僅かに一件に過ぎざる有樣なれば豫定の期日までには或は全部の申請を了し得ざるやも計られず、又今日の狀況にては特赦人員は差したる數には上らざるもの、如しと觀測せらる

◎農技官會同(第三日)

農業技術官會議第三日は前日に引續き午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、出席者前日に同じく石塚長官統裁の下に豫定の日程を了し午後四時散會したり

◎會同日程變更

十一月二十九日より開催せる各道農業技術官會同の日程は二日以降左の如く變更されたり

二日 午前協議事項、午後同上
三日 午前協議事項、午後訓示指示
四日 他部局課事務打合、午後本部事務打合
五日 勸業模範場視察

◎李王德壽宮訪問

李王殿下は三十日午前十一時昌德宮御出門德壽宮に李太王殿下を訪ひ御機嫌伺ひの御挨拶ありたる後午餐を共にせられ午後二時御退出ありたり

◎大阪より

▲人肥粗製傾向 米價低落に伴ふ農家の疲弊に因り一般肥料の需要は昨年は兎角不振なりしが最近に至り米價も餘程恢復を來し更に騰貴の見込あるを傳へて地方農民も漸やく愁眉を開きつゝあり從つて肥料に對しても今日迄極度の買控へ方針を取り居たる彼等も稍や買氣を生じて特に數日前より之が買付け增加し來れる由なるが之と同時に關東方面にありては生糸相場稀有の奔騰を告げつゝあるが爲めに養蠶家が桑肥料としての需要激增するに至り肥料の貧行頗る良好に向ひつゝあるもの、如し然るに地方の肥料會社中には資力甚だ薄弱にして手許甚だ不如意なるより過般來其製品を濫賣せるものあるやにて人肥市價は次第に競下げられ甚だしきは七十錢內外に落ち込めるものありとの事にて前記需要の新傾向と正に逆行の姿を呈し不自然極まる現象なるのみならず目下船腹不足に伴ふ海運賃の暴騰に依りて輸入原價市價も非常なる高價に當るの時七十錢內外にて販賣するが如きは生產事情を無視せるものにして到底持續すべからざる事なれども去りとて一度濫賣を始めては容易に之を打切り難きは泥戰市價に於ける營業の常にて某々一二會社も市價引上げに對して手の付け樣もなきもの、如く此の間に挾りて苦心焦慮の結果遂に能登燐礦の如き不合格原料を使用し販賣市價を引上げざる代り製品の質を低下して濫賣より起る損害を償はんとしつゝあり而かも無效成分の混入にて正面より法規を違反せず巧妙なる品質低落法と云ふべきものなるもかくて人肥界に及ぼす影響は甚だ寒心すべきものありと

▲板紙協定前途 全國板紙界の生產能力減殺の協定は曩に同業聯合會に於て三割減を決議し其實行方法は一箇月操業後二箇月間休業の方針を取り明年一月を以て初期操業月となせし處關東同業一般の狀況に徵するに右協定の目的は近時生產過剩の爲め多量の推積品を醸生し同時に市價の低落に依れる困難を救濟せんとするにありしに最初生產能力減殺上の標準を立つる當日先づ同業者より各其生產額を報告せしめ之に基き種々採算の上茲に初めて三割減となせしが其生產額は內實同業者の自稱に屬し實際は其報告以下の生產額に止まりし由にて從來の生產能力約七萬噸に對し二萬噸さへ減殺せば別に生產過剩ならざる新事業を發見し而かも北越製紙等の如きは前記協定以來斯界の形勢を觀望しつゝありて敢て此の際に於ける生產を避くるの模樣もあり旁々以て此の姿の儘にて推移せば三割減の必要を感せざるべしとの內議を生じ之れが爲め同業者は更に協定額の前途に關し尙ほ精查を遂げつゝありと(支局發)

人事消息

▲田中玄黃氏(平壤高普校長) 本月上旬二週間の豫定にて岡山、兵庫、京都の一府二縣へ學事視察の爲め出張
▲野口技師(農商課詰) 二十八日歸任
▲青木戒三氏(商工課長) 米穀檢査狀況視察の爲め一週間の豫定にて全羅南北道へ出張
▲佐々木志賀二氏(忠北道部長) 一日入京

南言北語

滿蒙經營に關して參考資料を得ん爲め今年の七月に農商務省や陸軍省などから三十餘名の專門家を滿蒙に送つた事は皆知つて居る事だ▲其後其等の連中は何處に何をして居たか何うも要領を得なかつたが此頃歸つて來た連中の談を聞くと驚かざるを得ない▲何でも一行が蒙古へ這入ると護衞とか何とか云つて支那の兵隊が鐵砲で隨いて來る▲隨いて來る丈けなら兎に角だが何か調べ始めると直ぐ邪魔を始める▲はては銃劍鐵砲を目の前に突き付けてコラ止せ〱とやる▲時には馬賊をけしかけて視察員を襲擊せしむるから堪つた話ぢやない▲調査所か旅行丈でも却々一と通りや二た通りの事では出來ぬと云ふ▲余り香ばしからぬいきさつの末ヤツト出來た滿蒙條約も之では有文無實だ帝政とは別問題だから此の方は此の方でドシ〱有文有實にして貰ひたいものだね▲蒙古と云ば例の快傑八ト札トは數千の部下を率ゐて盛に討伐の支那兵を擊破したり飜弄したり事態却々容易ならぬ觀がある▲抑も此の匪亂の原因を尋ねて見ると矢ク張り之れも袁總統の蛇蝎ぢや▲袁總統が蒙古王公の帝政反對を恐れて懷柔せんとし烏泰王をして庫倫の活佛の下に陶什陶と共に驍名を走せた八ト札トを說いて▲官職を欲すれば要求の儘に高位高官を與ふべしと支那一流の甘つたるい處をやつた▲之れを聞いた八ト札トは平生から癪にさはつて居る北京政府からだから贊成處か却て大に憤慨した▲其處で失敗した袁總統は直に熱河の姜桂題に出兵を命じて討伐に向はしめたから堪らない▲此樣な事だらうと待ち構へて居た八ト札トが愈々鐵騎を蓄ふ事になつた▲內でも外でも帝政突つ張りまはる厄介なものはないが之れは一家內の事だから此方は知らねこと

＝日記界の霸王出づ＝

「我等は日本國民である」と云ふ自覺は我等が無二の光榮であり誇りであります―此光榮と誇りとを毎日自覺して國民としての責任を果たさしめんが爲に『國民日記』と云ふものが出來ました―『國民日記』の優美なる體裁は世界に卓越せる我日本の自然の如く―堅牢無比なる其製本は天下無敵の大和魂の如く―其充實せる內容が古今東西の智識を網羅して餘蘊なきは恰も日本の文明が世界のあらゆる文化の粹を拔きたるが如し『國民日記』は從來有り觸れた日記のやうなものではありません―眞に國民の爲に作られた國民の日記であります

定價 金四十五錢 郵稅 金八錢

取次所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

●落葉吹雪、時雨の音

冬の靜寂に入らんとする名山金剛

冬の金剛萬二千峰は皆骨山の名に背かず其の峭立せる奇岩怪石が遺憾なく見られる、私は今度

雪を戴いた金剛山

を見て一入の美觀に打たれたのであるが一度山麓溫井里から九龍淵の幽谷を探つた時は、面も向けられぬ落葉吹雪と、岩角から吹き起る金剛山颪と又蕭々たる時雨の聲を聞いて非常な物淋しい氣分に打たれたのである、殊に案內者無しの獨り旅であつたからあの偉大なる大自然の力がひし／＼と私の身體を襲うて來てお終ひには殆んど引返さうかと思ふ程の物凄さを感じた――殊に私の著いた前日には溫井里の人々が

熊狩りを催ふした

と云ふので荒熊に對する恐怖もあつた、併しながら金剛山の風光が餘りに偉大で餘りに面白かつたから少々の危險を冒してまでも山中の各所を探勝して歸つたが從來誰れでも言はるゝ如く那般絶勝は鳥渡他に類が無からうと思ふ殊にわれ／＼の眼から見ると殆んど何處と言つて好個の

畫題たらざるは無く

先づ船で行けば長箭港のあたりから、已に觀光客の心を躍らす景色であるが就中最も雄大なのは溫井里の

谿谷から外金剛の

峭壁を望んだ處であらうと思ふ、あの邊で最も面白いのは奇岩怪石の峭立した連峰の下に圓い肉のある土山があつて其れが又冬枯れの緒色を帶びてゐたりの松の緑と相交り遠山は又紺青色に聳えて立てる眺めであらう、殊に畫家は山水の添景と云ふことを注意するがあの邊りには溪流があり人家があり瀧があり樹木がある殆んど總ての添景が揃つてゐる、又金剛山の樹木は

何れも皆古色蒼然

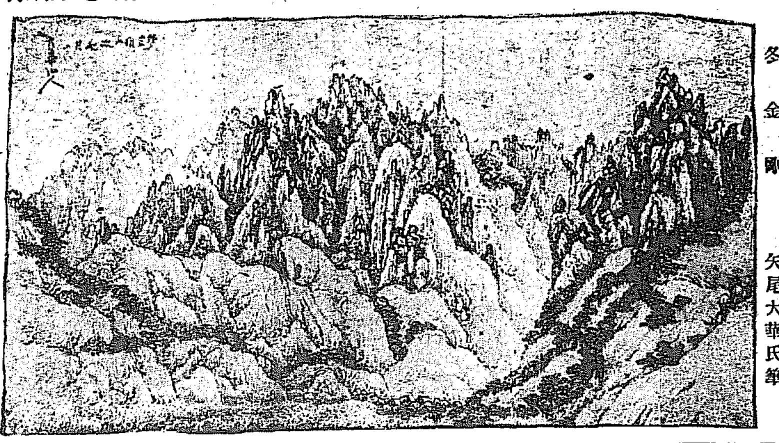
到底內地なぞの山に見られぬ趣きがある又われ／＼南宗畫家の方から申せば麗の圓い山々の皺が洵に面白く內地の山には決して見られぬ披麻皺荷葉皺の肉が黃大癡の筆そのまゝを現して居る、又外金剛の連峰は何れも

劍戟の如き花崗岩の峻峯

に成つて居るから其の一部分は斧劈皺と見えるけれ共全體の形態は亂麻皺の如く亂芝皺の如く或は又倪雲林の用ゐたる折帶皺や巨靄などの用ゐた斧劈皺折帶皺の如き皺で出來て居る、又

九龍淵附近の奇峯

は雲頭皺又は折帶皺で描けるやうだが私の最も面白いと思つたのは萬物相の連峰である、彼處の岩は皆千年の雨露に打たれて白くなり岩の皺だけが黑く墨繪のやうに見えるからわれ／＼の用ゐる鬼皮皺又は斧劈皺亂麻皺は悉く彼處に見られる殊にあの入口の鮮人の家なぞは面白いと思ふ、內金剛の景は到底外金剛の如く雄大ではないが靜閑の氣は寧ろ勝れてゐるやうに見える私が寒林の間を踰むで長安寺附近の禪堂を尋ねた時松栂樅の深緑中に百濟以來千年の建築が見えたのは又一層の趣きを感じた（八尾大華氏談）



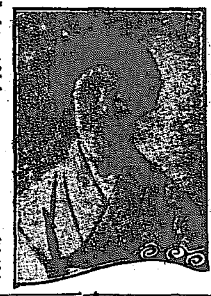
冬金剛　矢尾大華氏筆

●釜山の拳銃強盜

一日朝零時草梁鮮人靈順植方へ鮮人拳銃強盜侵入し金指環五個を強奪し同人妻朴史（三五）を射殺して逃走す賊は卅日夜八時頃本町五丁目米人醫師アービン方を襲ひたるも發見され逃走せし拳銃強盜と同一なるべしと目下其筋にて嚴探中（釜山特電）

●御乳母

溫良の賢婦人　病氣を知らぬ



不日御誕生あらせらるべき皇子の御乳母たるの光榮を擔へる東京府下荏原郡平塚村字戶越角田邦松（三二）の妻こと子（二七）は明治四十一年嫁入り以來長女八重子（六）長男忠一（三）次女茂子（一）の三子を擧げこと子夫婦の外に老父母忠吉（六八）てい（六七）何れも壯健にして一家七人至極圓滿に暮しを立てこと子は平塚小學校を卒業せるのみなれども性質至つて溫良にて今日まで未だ病氣を知らぬ程の強健者なり最初同郡よりは十三名を選定したるが人物體格共にこと子が最優者と認められ終に御採用の榮を得たるなりと（東京特電）

●獨探の妻

島原生れの美人　流石に悲憤の涙

退去命令を受けたる獨探二名の內ゼー、エム、サンダース內縁の妻は島原女楠田ちよ（三三）とて色白丸ポチヤの美人にてサンダースが退去命令を受けたる當日、お納戶色の竪縞御召給に花色お召の被布を着け手に指環を光らしながら往訪の記者に對し『サンダース』さんと一緒に上海に行きますと許り流石に涙ぐみ尙ほ無念さうに何事か口を開かうとすれば傍らよりサンダースは目顏に其れと知らしめて口を緘ませたり（長崎特電）

●賣國の疑

印度革命黨員に退去を命ぜる理由

既報の今回退去を命ぜられたる印度人ハランバ、エル、ガブタ及びビー、エヌ、タルールの兩人に就いて當局の語る所に據れば兩人共獨探の嫌疑者にして今年米國より來りて以來頻りに某國駐在獨逸領事館員と書信を往來し居たりといふ今回兩名に退去を命じたるは最近長崎に於て獨逸人及び和蘭人の二名に對して退去を命じたる如く全然獨逸關係にして決して他の理由あらずと（東京特電）

●外人狩獵

新幕の山雉子

北京稅務司アグレーン氏及奉天稅關長、安東縣稅關長の三氏は廿七日遊獵のため新幕に著し新幕館に投宿二十八日早朝より遊獵同日雉子三十二羽を得廿九日も同樣遊獵の四十羽を得三十日も早朝より狩獵の上二日朝安東縣を經て歸途の筈（新幕）

●鴨江流氷

鴨綠江にては三十日より流氷始まりたり（安東縣特電）

●雜貨屋の女房

慘殺さる　掌中に血染の鬪錢

福岡縣浮羽郡船越村秋成八百三十五番地權藤吉と云ふは目下慶尙南道昌原郡鎭北面鳳岩里に居住し雜貨商を營む者なるが過般來同人は大連方面に出稼して妻すゑ（三三）は本年六歲の富枝と云ふ女の子と共に留守居をなし居たるが去る二十五日午前三時半頃と覺しき深夜何事の起りしか幼子の富枝は氣も狂はんばかりに泣き叫び居るに母なる人は目を醒して之を賺さんとする氣配もなく其の模樣の何となく不審しきより附近に住む鮮人某の妻が起き出で家外より聲をかけて容子を聞かんとすれど何分幼兒の上に言語通せぬ事とて皆目內の模樣定かならず幼兒は益々盛に狂ひ泣くのみなりしかば今は打ち捨て置べきにあらずと近隣の鮮人を呼び起し家の中に這入りて灯を點すれば這は抑も如何に妻のスエは寢卷姿の儘鮮血全身を染なし一見慘鼻を極むる慘殺の死體となりて土間に打ち倒れ過ぎ一面唐紅に淋漓たる鮮血飛散し凄慘の氣襲ひ來る慘らしき有樣なるより集り來れる鮮人等は腰を拔さんばかりに驚天し早速急を鎭東憲兵派遣所に傳へたれば直ちに憲兵曹長が伴ひ現場に驅け著け死體檢案に著手したるが死人は鮮人の賭博に用ふる新らしき鬪錢四十枚を一束にして握り締め致命傷としては左耳下を朝鮮式の庖丁ならんと思はるゝ刃物にて抉られ出血出量双手鮮血にまみれたるにても如何に苦悶せしかを知られ附近には燐寸紙に包みたるコスモス煙草一個取り落され居たりと現場の模樣より見るに慘暴なる犯人は買物せんとて呼び起しすえの油斷を見すまし隱し持ちたる兇器を振ひたと一突きに之を刺し殺し直ちに家中金品の所在を探りたるものゝ如く逃げ出したる裏口の戶には血の染まりたる指形を殘し居たりと其筋にては極力犯人の嚴探中なるも未だ其の端緒を得るに至らざる由

●貴族院議員選擧違犯事件

岡山縣貴族院議員選擧違犯事件卅日豫審終結し星島氏以下皆口錢に關する違反、富豪藤田氏のみ僞證罪にて有罪に決定せり（大阪特電）

●帛紗の祟り

早速捕縛さる

本籍福岡縣筑紫郡大宰府當時龍山彌生町居住無職前田定三郎（四二）は十月三十一日午前十時半頃京城本町四丁目路上にて新町居住古物商久保宗一郎の遺失したる蟇口一箇（價一圓二十錢）小爲替券一枚（七圓五十錢）額面四十七圓五十錢京城銀行支拂ひの小切手一枚金製鎖玉入羽織紐一箇（價十一圓）現金四十三圓四十錢縮緬ハンカチ一枚等を拾得し帛紗現金及び銀行拂の小切手は其後窃に携帶し羽織紐は彌生町宮本みやのに情を告げず金七圓に賣却し現金は高貴織羽織給及び帶其他雜品を購ひて全部費消し郵便小爲替券は知己なる龍山榮町石工職坂本辰五郎より金三圓の借用方を申込まれたるより同人に交付したるより坂本は元山二丁目郵便所より額面現金七圓五十錢を受取り三圓は自己の用途に充て四圓五十錢は淸三郎に返戾したること本町署の刑事に探知せられ同署に引致せられ取調中

●巡查派出所十二箇所の撤廢

京畿道警務部管內中に於て十二月一日より本町警察署外三署の巡查派出所を廢合することゝなり左の十二派出所は撤廢されたり

本町署四箇所▲鍾路署六箇所▲仁川署一箇所▲高陽署一箇所

右につき其減員さるゝ人員は巡查二十名巡查補四十七名計六十七名なるも這回派出所の廢合は單に複雜なる箇所のみを撤去したる次第にて警察の實力に於ては以前と同樣にて何等影響する所なしと

●勸誘員の檢擧

邊境の北鮮地方に出張し來れる保險勸誘員は其素行最も不良にして料亭に流連し或は婦女を弄し賭博を爲す等地方人の擯蹙する所なるが目下淸津地方に出張滯在中なる京城某生命保險會社支店勸誘員松本爲造（三二）同上社員細井淸八（三〇）長崎市大村町某生命保險會社勸誘員高月菊太郎（二七）三名は淸津牛乳搾所業三谷泰三と共に本月二十六日夜料亭金開の酌婦の室に於て賭博開張中を檢擧され各科料十圓宛の判決言渡さる

●乾草から火事

一日午前零時二十分頃京城義州通二丁目程擧鉉（六二）方より出火したるよ即時常備及び義勇消防出動同四十分消止む原因は軒下に堆積しありし乾草より發火せしものにて多分通行人の煙草の吸殼より移火せしものならん

●疑似猩紅熱

櫻井町百九十番地中村りう（一二）は一日多々見醫師診斷の結果疑似猩紅熱と判明し消毒を勵行し早速總督府醫院に入院加療中

●日韓寺の接心會　大和町三丁目曹洞宗日韓寺にては本月一日曉天の坐より八日の曉天の坐まで臘天夜坐の臘八大接心を行す因に八日午後一時より成道日大法要を修し引續き禪學講話並に例年の通り一般の參詣者には粥の接待を爲すと

●釋尊成道會　曹洞宗大本山別院にて十二月一日より七日まで毎夜午後七時より讀經、坐禪、成道歌の提唱あり

兵營生活

△砲身の輝き　野砲兵の樂しみ

『砲兵は戰鬪の骨幹なり』われ／＼がどつしりと落付いて、勇敢な步兵や騎兵を進ませねば戰は能きぬ』と各自の協力一致によつて成るのであるが殊に砲兵となると單獨では不可ぬ、彼等は

■一門の野砲による

にも先づ五人の勇士がなければならぬ、砲車が砂塵濛々畑を行き河を渡り丘を越えて、愈よ敵に向つて放列を敷いたとなれば、中隊長の號令一下、先づ架尾手は砲車の方向を定める、標準手は目標に向つて標尺を定める、裝塡方は彈丸をこめる、發射方の一番は引金を牽く、測合手は曳火彈の信管を距離に合せて測合する斯くて一彈又一彈を送つて三八式野砲が愈よ猛烈に働き出すと一隊五人の勇士は

■一分二十發の彈丸

宛然活きたる機械の如く敏捷に立働く而して彈丸が愈よ正確に命中し始めると眼前に百萬の敵でも御座んなれの氣分になるといふ、成程、野砲兵のお得意は此處にあらう、併しながら近頃の戰爭では

■野戰に大きな重砲

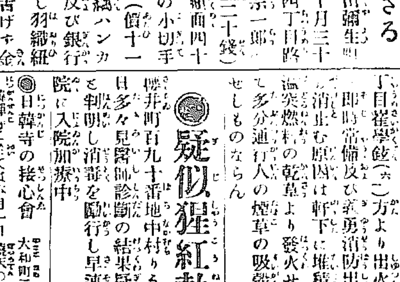
を用ゐる事が益々多くなり、彼の十二、十五榴彈砲から加農砲までを扱ふことゝなつたから軍隊に於ても立派な野砲兵を敎育することは却々容易な骨折でなく、又敎はる兵士の方でも在營三年間の苦心が容易でない、先づ年の十二月に入營した初年兵は翌年の四月までに第一期の敎育を終り茲に始めて良き

■砲手として働ける

やうになる、其れからは又操砲車に就て種々な細かい事まで敎はるのだが何分にも機械を操縱する仕事の上に騎兵と同じく馬術の心得も必要であるから平素日課の忙がしさは一通でない、頭日では朝の六時から夜の八時まで一定の時間內に演習もする、馬の手入もする、學科も學ぶ、殊に砲車及び砲身の手入は毎日丹誠罩めて

■朝夕二回磨きあげ

る、實に野砲隊に於ける大砲は、他兵科に於ける軍旗同樣　大元帥陛下から賜はつたものとして最後の一人まで生死を共にすることゝなつて居る、野砲兵の樂しみは年に一度の火砲祭と毎年十月に行はれる實彈射擊演習の二つ、平素は酒保の饂飩、汁粉も何よりの御馳走だ相な



登錄商標

太物類各種足袋問屋

染手拭木綿並に足袋原料

足袋並にカバー製造販賣

山印大阪足袋一手販賣

明治足袋會社特約販賣

大阪市東區唐物町堺筋角　柿定商店

電話（西）東一四七番・三三七番　振替口座大阪二三七三番

▲營業科目及相場表は御一報次第送呈仕候

獨逸研究

現代國民の精讀を切に要求す

豐富整然たる內容

今日の獨逸　陸軍工兵少佐　松本　雋

獨逸の陸軍　海軍中佐　日高謹爾

獨逸の海軍　法學博士　神戶正雄

獨逸の經濟　法學博士　富士川游

獨逸の醫學　文學博士　松岡均平

獨逸の交通　法學博士　吉田熊次

獨逸の敎育の特質　文學博士　川瀨善太郎

獨逸の林業　林學博士　朝永三十郎

獨逸の哲學　文學博士　大類　伸

獨逸の軍國主義　文學博士　藤本幸太郎

獨逸の商業　東京高商敎授　箕作元八

史上より見たる獨逸帝國　文學博士　藤井健次郎

獨逸倫理學概說　文學博士　成瀨　淸

戰爭と獨逸文學　第三高等學校敎授　井上仁吉

獨逸化學工業の進歩及其原因　工學博士　市村光惠

獨逸の法律　法學博士　建部遯吾

獨逸觀　文學博士　澤柳政太郎

獨逸に對する我國民

菊判上製全一冊　正價八拾錢　上製金壹圓（郵十二錢）

發行所　東京市神田區駿河臺鈴木町　振替三二六七七番　同文館雜誌部

セル御袴

法外なる投賣

御買求の好期

新セル袴二圓八十錢　本毛セル袴六圓五十錢（郵稅十錢）

歐洲戰亂輸入杜絶を見越し多數の輸入持品精算之上大安賣を爲す

御注文は端書で御申越相成れば引替小包で御送申候寸法は普通紐下二尺二寸位なれ共御好の寸法縞柄のあらい細い又は頭等可成詳細御申越し被下ば最も適當の品御取替致し御召きぬ時は御取替申上候

東京芝區廣町二十七番地　總督府制服帽劍洋服附屬品販賣　フジヤ

振替東京二八九二六

入院隨意

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）

酒井婦人病院

電話二六〇〇番

無双醇良清酒

衛生無害

品質無双

首藤合名會社吟造

精白米御小賣　キリンビール

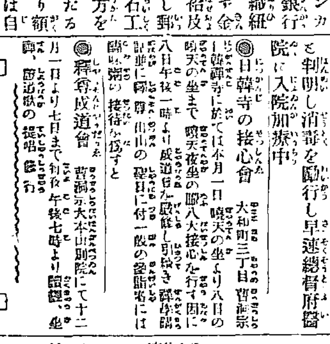
醬油（亀甲萬）　サッポロビール

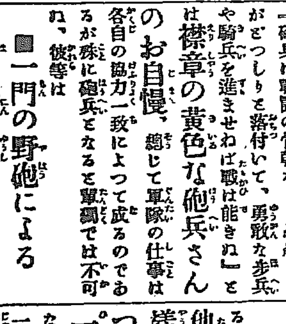
各種　三矢印サイダー　シトロン

朝鮮發賣元

首藤京城支店

黃金町（電話一七一番）





◎慘澹たる露國避難民

オムスク驛の一夜

あゝ何たる悲劇ぞや

歐洲視察の途中にある營林廠技師今川唯市氏より左の如き通信ありたり

ペトログラードは今や其の西南僅々十二時間にて達し得らるゝリガ市の運命旦夕に迫れるを以て此の方面各地より上流社會の避難民晝夜に輸送せられ來り既に百萬以上に達しさしもの大都も之れが爲に混雜甚だしく物價の激騰言ふ迄もなく猶且つ輸送力不足の爲め物資の缺乏日を追ふて著しく殊にパン粉と砂糖は非常に拂底を告げ市民は各小賣店に於て買求むる事を得ず少數の砂糖及びパン粉等の鬻間屋の前はパン粉こ砂糖こを得んとして常に千數百の市民列を成し順次に少量宛の粉と砂糖とを買求め居る狀一種凄慘の光景なり更に混雜怪濟を極めしは二十日（十月）に於るオムスク驛の一夜にしてポーランド方面より冷たく暗き有蓋貨車にて運ばれ來りたる避難民は驛の各室に充滿し之等の避難民は悉く老弱男女にして護送兵士の他は一人の壯丁をも見受けず避難民は極めて少量のパンを官より分與せられ居りしが勞れ果てたる彼等の內には貨車より降りると同時に所構はず打倒れて昏睡する者尠からず小兒は母の胸に倚り母はパン粉の袋に倒れ掛りて眠るあり老人の多くは五六人宛相集りて室の一隅に佇立し居所を失ひたる子供等は荷物の間デスクの下、戶棚の中等にゴロ〳〵倒れて眠り居るなど殆ど空間を餘さゞるの有樣なりし

■薄暗く冷き　室の中壁に揭げられたるヨセフとマリヤの聖像の前には三個の燭火小さく點りたるのみ薄暗き室內は暗さと寒氣とに領せられ多くの婦人の顏には淚光れり山羊の毛裏木綿の衣物は裂け汚れて近寄れば惡臭を放つあり深き眠りに入れる稚兒の足袋は破れて寒さに肌の赤くなりたる或は古き毛織の單衣著より白き兩手を差出して無邪氣に眠れる子供の美しき寢顏杯殊に此場の哀れを增さしめたり明日は亦此等の哀なる避難民は寒き貨車に押込められ餓に勞れながら何處まで送られ行くならん哀れとも云はん方なし長の年月骨を折りて稼ぎ溜めたる寶も家も牧場も畑も牛、羊、豚も今は敵手に奪はれ終りたる此の流浪の民に對しては何人も不憫と同情に一掬の淚を注がざるものなし而して此等避難民を詰め込みし室と硝子戶一板隔てたる隣り部室には旅客の爲めにテーブルには溫たかきパンあり、肉あり、魚あり、コーヒーあり、菓子あり晝を欺く電燈の下に茶を喫する音、肉を切る音、高慢の話聲に相語る者もあれば彼等の悲みは更らに深きものあるべし

■暗き避難民　の此室には人の數こそ多けれども誰一言の話聲も無く時々勢愛きが如き軒の聲ゆるのみ明るき部室と暗き部室こ食に飽く人こ餓に迫る人の嗚呼何たる悲慘なるコントラストぞや、官給のパンの行き渡らざる者は飢を呼び、泣き聲揚けて食を求むる小兒ありされど其後數ひのパンは未だ來らず夜は正に十一時、余は此の可憐なる人々と別れてモスクワウに向けて出發せり

◎日露中繼電信

淸津郵便局に於ける十月中日露直通電信中繼數は非常に激增し淸津發著八百九通一萬一千七十九語、本邦發露國發三千百三十通七萬六千六百三千九十一通六萬五千三百五十二語十一語、計七千三通十五萬四千百二語に達し昨年十二月開始以來の新記錄を作れり而して十一月に入りては益々增加し日々三百通六千語以上に及べるが通信地は東京ペトログラード間最も多く何れも注文の電報なり

◎滿州煙草現況

收容豫想高二十七萬餘貫　米院煙草耕作組合は由來名聲嘖々たる山東煙草の原產地として知られたる滿州郡米院面山東里にあり現在倉庫三棟を建設して生產品を收容し可及的有利に之を販賣せしめん目的なるが例年惡仲買人等入り來りて不當の買入をなし京城其他に搬出して賣崩す弊害あるに鑑み組合にては此の弊風を一掃せん爲め今年よりは生產の全部を收容し一纏めとして販賣することに決したる結果從來五十錢以下に低落し居たる市價も現在にては六十錢以上の價値を持ち目下盛んに生產品の收容中なるが十二月末迄に十二萬貫餘明年一月より三月迄に十五萬貫合計二十七萬貫餘收容の豫定なる由にて既に京城廣江商會朝鮮煙草株式會社釜山煙草會社等に約十五萬貫賣約成立したるも尙遠く支那方面に輸出せん計畫にて交涉中なるが既に過般上海の一煙草會社よりも二十萬貫買受けを申込み來り昨今價格の協定中なりとのことにて今後は尙一層耕作及び乾燥の方法に付きても充分の指導改良をなさしめ益々山東煙草の名聲を發揮すべしと

◎棉實から黃粉　三宅道技師談

米國テキサス州の農事試驗所に於ては此の程草棉の種子を粉にしたものを麥粉に交せて麵麭に作つて見て非常に滋養分に富んだものを得たと報告してゐるそして、此の麵麭が丞第に中流以下の家庭に擴まつて行くといふ事である從來油を搾つた後の種子一磅に含有する蛋白質の量は正に

鷄卵一磅の蛋白質に四倍

する脂肪は鷄卵と同量である之を小麥に交せて麵麭を作ると優に十六パーセントの蛋白質を容易く胃液で消化し攝所することが出來る鷄卵には蛋白質が一三、一一で脂肪が一二、一ある牛肉には蛋白質が一九、六〇脂肪二一、一あるが此の草棉の種子の澄滓の粉には蛋白質が四八、二五脂肪が一二、一六ある人類の中で黑人の食物が一番貧しい一日に蛋白質を僅か一〇パーセントしか攝るに過ぎない、人間は一日に少くとも百二十五グラムの蛋白質を攝らねばならぬ此の草棉の種子の麵麭は正に肉食に勝るの滋養分があるといふことである平南の棉作が頗る多額に上つてゐることは世人の周知する處で其の棉實は現在油を絞つて糟體は肥料に用ゐてゐるが試みに此の程小林技手が棉實を其の儘粉にして試驗した結果**香氣色澤甘味等殆んど黃粉に似た一種の粉を得**た一反步の棉實から三貫目の粉を得之れを換算すると二百目で一升即ち一反步の棉實から一斗五升の粉を得る譯で更らに進んで研究したならば食物代用品として恰好のものを見出しはせぬかと引續き調べてゐる

◎海南達摩山貸與　全羅南道

海南郡大芚山裏手達摩山一千八百町步は殖林の目的により代議士小川平吉氏外三名に貸附すべく許可せられたり

◎濟州磁鐵試驗　全南濟州島

新左面橋來里に於て發見の砂鐵鑛は其筋にて分析の結果容易に除去し難きセニミームを含有する爲め採礦するも收支相償はざるべしと

◎驛屯土小作料徵收成績　忠淸北道

にて十一月末日迄の驛屯土小作料は總額九割五步徵收をなし得たる內米價安の今日なれば懸念し居たる當局者も如斯成績を擧げ得たるを喜び居たるが之も一般鮮人に納稅觀念の進步したるに依るものならん

◎蠶種製造所卒業式　公州

第二回蠶種製造講習生卒業式は三十日午前十時より忠淸南道恩賜產業傳習所に於て擧行せられ峰島道技手開會の辭を述べ同所技手俵恒吉氏の學事報告に亞で道長官代理第一部長澁谷元良氏及び公州郡守の式辭同所長神藏要吉氏終了生一同に對し一場の訓示を爲し修了生總代金珠會の答辭等ありて式を了し終了生の蠶兒、蠶糸に關する談話ありたるが當日の修了證書を授與されしもの左の如し

公州郡業東郡、洪城郡金秉洙、公州郡金珠會、牙山郡元奎義、公州郡成樂仁、公州郡崔淳益、洪城郡、李泰求、公州郡申英均の八名なり

◎財射殺者賞與　全南谷城郡にて

警察署員地方人民協同の下に害獸驅除を行ひ其際ヌクテ一頭を射殺せし同郡邑內田淵佐四郎に對し總監部は規定の如く金十五圓の賞金を授與したりと

◎群山より

學校組合會議　群山學校組合に於ては二十九日午後二時より組合議員を召集し組合會議を開きたるが天野府尹千々松主任書記臨席饒部、樋口、中尾、黑川、花岡、林、神德河松等各議員出席學校組合區域變更並に規約改正の件に關し協議決定する處ありたり▲客主組合成立　群山主立たる鮮人發起となり其筋の認可を受け客主組合を組織し群山座前に事務所を新築し廿八日午後三時式を兼ね組合成立披露を爲したるが群山日鮮官民多數を招待し組合長金洪斗氏の挨拶大野府尹の祝辭あり頗る盛況を極めたり▲鮮銀前所長出發　群山朝鮮銀行出張所長井上正愛氏は京城本店詰となり新任所長に事務引繼中なりしが全部の引繼を了し三十日群山發一番列車にて赴任出發し停車場には群山官民多數の見送りありて盛んなりし▲米檢出張所　群山米穀檢查所に於ては出穀旺盛の季に入ると共に檢米の繳速を計る爲め從來五名の檢查員を更に二名を增員し十二月一日より金堤に出張所を新設する由なれば一般當業者の利便尠なからざるべし

◎連絡船上陸客　三十日午前入港連絡船弘濟丸

一等（四名）首、多喜馬、城いち子米人二名二等（二十八名）楠本萬次郎、關田八郎、柿浪慶二、同數三、同長夫、深井八重、前田さな、同携子、同末、河內登吉、同いし子、同節子、同ほ、村井松一郎、貝原きぬ、今西建、龍平源藏、杉川安三、同遊喜子〔以下略〕三等（百六十名）

商況

債券現物特電

東京三十日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖	八〇、〇〇	……
日韓瓦斯	……	
朝鮮銀行	一五〇、〇〇	……
朝鮮瓦斯	……	
南滿鐵道	……	

深川在米特電

三十日現物

朝鮮米	三〇、九九一	一五二
宗鮮米	六九、七五二	三、八
內地米	三六、五	六五

東京公債直取引特電

三十日出來値段（前日との比較）

五分特別	九九、二〇	……
九分甲號	八一、二二〇	……
一回四分	八一、二二〇	……
二回四分	九三、三〇〇	……
甲號石分	[illegible]	

大阪期米特電

一日前場

當限寄付	一四、八〇
中限寄付	一五、三二
先限寄付	一五、八八

め止

下關期米特電

一日前場（正期節據高に朝鮮米）

	當限	中限	先限
寄値	一四、三五	一五、〇〇	一五、五九
高値	一四、四〇	一五、二〇	一五、五七
安値	一四、三〇	一四、三五	一五、三〇
止め	一四、三〇	一四、三九	一五、三三

朝鮮物產特電

馬山改良	三、一〇	釜山大豆	九、〇〇	
群山改良	……	慶山大豆	……	
木浦改良	二、一〇	元山朋大	三、〇〇	
釜山改良	二、〇〇	城津大豆	一〇、一〇	
仁川改良	……	仁川大豆	八、〇〇	

大阪株式特電

	前三十日	後場寄付
大阪株式	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]
大阪電燈	[illegible]	[illegible]
京阪電鐵	[illegible]	[illegible]
阪神電鐵	[illegible]	[illegible]
南滿鐵道	[illegible]	[illegible]

雜報

◎糖界の近狀

[illegible]

跡益々好況　二十一圓を發表

[illegible]

輸出を困難ならしめ

[illegible]

◎片栗粉弱持合　東京

市況は問屋界不より買行き香しからざる所柄產地軟弱を移して自然ずり安商狀の傳へあり大阪市場は今尙ほ昨年度の底還錢高品格安に給供し居れ格高なる新物は疎かさは自然勞々、地帶こ見送り、あるも相向さは左もりと

◎亞鉛線突飛入電

亞鉛線は原料鉛及び亞鉛の暴騰に連れ市場の人氣は高く昨今大阪其他の入電は二十五番線にて三十七八圓乃至四十圓を報じ聊か破目したる成行きを示しつゝあり如何に上買度の當業者も只呆然として爲す所を知らざるものゝ如し

◎洋釘又々昂騰

洋釘は二十九、三十の兩日に亘り一圓高を報ぜし事は既報の如くなるが一日の大阪入電は更に五十錢高を齎らしたるより當地も何程かの引上げを見るに至るべし

◎糯依然品薄

糯は依然品薄にて[illegible]白米卸値は七圓五十錢十八圓處

◎鰊締こ產地

[illegible]

◎白米移出口續騰

七八十錢を呼ぶ

◎精白引續き昂騰

六十錢も尙賣躊躇　[illegible]更に十三圓

◎小賣白更に値上

更に五厘方の値上げ

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻米

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

一日前場　大阪の漸落を移し　新甫七十五錢上鞘　七十一錢と安移り二十大阪跡　先六十六錢跡六十錢と安移り

[illegible]

仁川米豆取引所

一日の二月限

[illegible]

北濱だより

▲當株の採算觀

[illegible]

小賣白米

[illegible]

市場零聞

▲前場の商戰　▲前場暴落す　▲人氣變動す　三錢鞘は實に四圓六十錢　斯る不割な賣込　▲新甫發會不勢　標準米の改正

[illegible]

南大門の廻米

[illegible]

◎新巡査七十四名

大阪よりの返電

[illegible]全部濟南に追放す

◎今村覺次郎　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長三三七番　電略イヌ

酒精アルコール　直輸入元　仁川花町（電話六五〇番）電略（サ）振替口座京城五八二　坂倉伊平商店　京城吉野町一丁目（電話二四四一番）坂倉伊平支店

大日本優淸酒等　ハクツル　品質純良　衞生無害　白鶴　釀造元　攝津御影町　嘉納合名會社　發賣元　京城本町四丁目十四番戶　前田酒店

營業課目　船具金物、鐵道、鑛山、土工建築材料、ペイント及油各種　天幕雨覆製作、朝鮮苫有　直輸入品ハバクスペイント類及各種ロープ類ハ戰亂ノ爲メ暴騰致居候處特ニ相働キ御用ニ應ジ可申候　總督府認可船燈救命具信號器販賣所　近江帆布株式會社朝鮮一手特約店　大阪小森製鎖場製品朝鮮代理店　仁川本町一丁目電長五六振替京城五九　村谷吉藏本店　平安北道義州城內電長二二振替京城九八　支店義州印刷所

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候　京城　朝鮮銀行　振替貯金口座京城三三三番　電話（本）三三一、（本）三二六〇、一二六一、二一六一、一二六二　支店出張所　東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春　右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

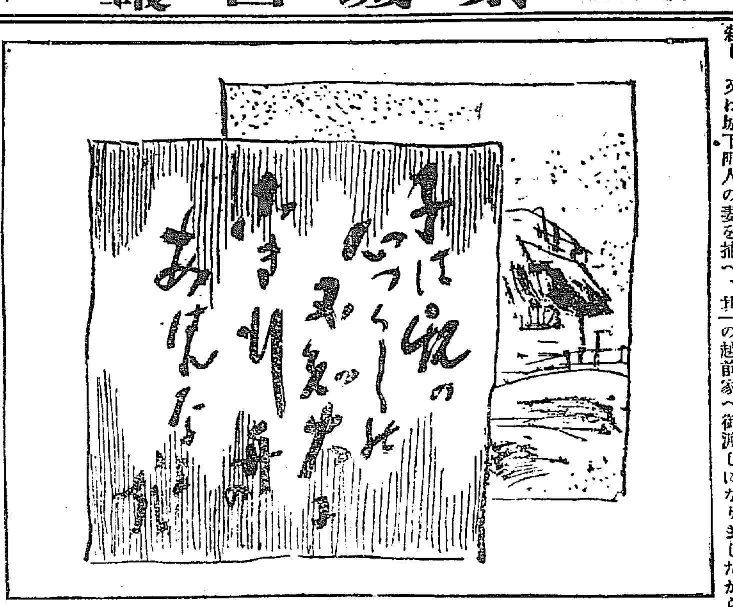
くすりは山岸　諸官衙御用達　洋藥賣藥卸問屋　醫療及試驗器械　懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候　京城本町一丁目郵便局前　山岸天佑堂藥品部器械部　電話一二二一〇二一

越後大評定

第六十席　早川貞水口演

忠直の流罪

そこで越前忠直公は、井伊掃部頭に御預けとなり、越前御同三十有餘人は之を二手に分け、御親戚の伊達政宗侯、毛利公の二家へ御預けになり孰れも江戸の上屋敷、下屋敷へ御引取りになりました。扨て公儀より忠直公へ對し、十二箇條の御難問と申すは、第一大阪出陣の砌、冬御陣の間に合はず、愈々出陣となつて、江州森山の觀音前に於て、大御所より御使番に、詰腹を切らせられたること、第二領分百姓を鐵砲にて討ち殺し、又は城下町人の妻を捕へ、其操を破らんと致せしこと、忠臣關根彌左衛門の嫁、孫を手討ちに致させしこと等で御坐いまして、追々御問ひ詰めになりますと、一として申開きが立たぬ、そこで忠直公ほどの剛情も、終に恐れ入つたりとあつて、一言もない、是に於て越前七十五萬石御取上の上、忠直公を豊後國府内在荻原と云ふ所へ流罪の儀仰せ渡され、直ぐに御公儀より御代官として石貝重藏、牧野傳十郎の兩人へ仰せ付けられ、兩人守護して府内へ御送り申し上げました、誠に御氣の毒な譯であるけれども、國持大名へ後日の懲戒、第一の名門越前家を此の如く仰せ渡されたので御坐います、一門でさへ彼の位であるに依つて、他の大名が、萬一あの如き行ひある時は、あれ以上の罰を被るであらうと云ふ御手本になさいましたので御坐います。愈々忠直公府内へ御着になると、御代官兩名も流石に越前家の事であるから、内々叮嚀に取扱ふ、忠直公も亦、今は前非を後悔あつて御名も一白と改められ、法體に御成り遊ばしたけれども、未だ御年齒も御若いので御坐いますから、御傍には御召使の女を差添へ、萬事の御世話を申上る、すると此女に御手が著きまして、三人の御子樣が出來ました、御長男を龜之助、御次男を秀之助、次が女で、おかん樣と申し上げました。此三人の御子樣方は、江戸の越前家へ御渡しになりましたから越前家で御成人なさいました、其事は後の話でありますが、此時忠直公『宵の間は、都の空に澄ねらん、心盡しの有明の月』と云ふ道眞公の古歌に倣ひ『子は親の、心盡しも不知火に、漕ぎ行く舟の哀れなるかな』と御子樣の行末を御嘆きになりましたが、終に慶安四年六月十五日、この流れ島に於て御他界になりました、此方は福井城にては、品川から注進の齒を挽くが如く早打で御坐いました時に『七十五萬石御取潰しとは、如何にも情なき事なり』と城中には老臣はじめ一同駆け付け、上を下への大騒動、その間に虎の間と名付ける大廣間に、家臣殘らず列席、左正面には、老臣小栗美濃守はじめ、大熊帶刀、黒田大隅、山田大膳、本多七左衛門、安藤主計、岡島壹岐、安養寺三郎左衛門入道門齋、青木新兵衛入道法齋、跡部掃部、佐久間上總介、山田大炊助、右の方は、正席には荻田主馬、海老原常陸、水谷丹波、青木出雲、多賀谷豊後、旭丹後、鈴木丹波、落合美作、由利正齋、結城主膳、梶原能登等綺羅星の如く坐列ぶ。



十二月三日九星　舊十月廿七日戊辰　本命五黄　八方取　赤口

▲五黄● 尻拔けになる事有日 新事見合南方は吉 臨時なし ▲六白● 理合よき日 轉居入門企件名引 求職造船談判縁談仲裁を致す等皆吉 ▲七赤● 事業發展の日 轉居入學企件名引求職棟上婚禮十二工請負等皆吉 ▲八白● 他の爲を思ふて反つて迷惑する事有注意 新事手控常の事は吉 ▲九紫● 貴なる日 轉居開業入學企件求職出願縁組電氣業等萬吉 ▲一白● 長し短しの事有日 新事手控常の事は吉 一切の賭事せぬがよし ▲二黒● 役に立たぬ事多き日 新事手控所業は吉買物仕入に用心の事 ▲三碧● 反對論の事有日 新事手控萬事は吉又事を防がるべし ▲四緑● 間に落ぬ事有日 新事手控萬事は吉萬丁寧にせらるべし

◎婦人の美觀 東京社發行の「婦人畫報」十二月號には閑院宮同妃殿下李王同妃兩殿下御首相以下各大臣夫人及び外國大使夫人美しき名家の令嬢等數十頁あり讀物には新渡戸博士の「妻の問題」小説「お夏文代」其他多し定價貳拾錢 市内各書店にあり

演藝案内

天然色活動寫眞株式會社指定一手代理店 黄金町四丁目 電話二六三七 黄金館
龍山停車場前 電話(龍山)四二番 龍光館
十一月二十七日より全部差替 帝國館にて大好評を博したる泰西活劇『金色の蝶』原名金の蜘蛛 近頃撮影にかゝる新派悲劇『夏木立』全卅八巻を上映す○お徳用の回數券御申込は電四七七へ

明治町 電話二六〇番 浪花館
浪界之驍將京山恭為一行來る 三日午後六時より開演仕候

櫻井町 電話八七三番 大正館
十一月廿六日よりの二大寫眞 悲劇母の罪 全三卷 冒險奇怪女出藝師 全三卷 日活御東撮影所の新作○新派

本町 電話五七八番 壽座
十二月一日より新派劇 ▲尾上松之助一座大車輪の活劇 喧嘩上中下 全八十卷 ▲新派悲劇夏木立上中下三卷 ▲悲劇子守唄

御成町 電話二九一番 御成座
七十回目替藝題 ▲獨採 ▲胡の舞 全十二場

壽町 電話一〇五〇番 詩館
浪界の女傑女雲右衛門來る 十二月一日二日晝夜 ▲千兩幟(芦の里館)▲佐賀の夜櫻 ▲入場料一等金二十錢二等金二十錢三等金十錢

▲廣告▼ 朝鮮總督府
一張石參萬四千四百五拾個 右晴買ス詳細ハ十二月二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

告 京城分會員
大禮觀兵式ニ際シ開催ノ帝國在郷軍人會大會參列者ヘ本月三日新宿御苑ノ拝觀被差許尚同所ニ於テ各分會ヘ御菓子御下賜ノ旨御沙汰ヲ承ク
帝國在郷軍人會京城分會

六大景品 無代進呈
景品 鎖、メタル、磁石、ヒモ
種目 鹿皮、環皮 以上全部進呈
正銀側時計 殆ど半額
本品は瑞西國時計會社特製正銀側 懐中時計 流行品 堅牢精密 時間持廿ケ年保險證付 實價五圓以上
六形19 20形 アンクル 貳圓五拾錢
17以上の品 參圓五拾錢
五拾錢增し
大阪瓦屋町 日野時計店

流經新藥 レスノリン
月經 流經
常盤藥院

新酒賣出し
一升に付 一金拾八錢
上酒 一金參拾錢
大邱北旭町 齋藤酒店

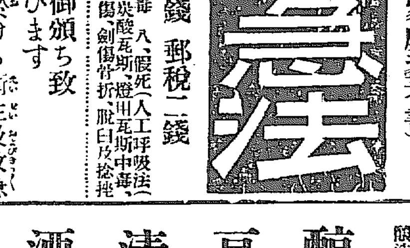
鐵砲は 横濱の金丸銃砲店に限る

最上醤油
特許機械製 ほまれ味噌
絶對的品質本位
鮮滿醸造界唯一の名譽
於始政五年紀念物産共進會 金牌受領
醸造元 仁川港 日本醤油株式會社

寒い時の養生に 次亞燐が最も必要
寒さに負けぬ要心には 醫師の勸むる燐酸强壯劑 次亞燐を服用し 血を增し躰を肥し 無病强壯になるが第一
價 小瓶五十錢 中瓶九十錢 大瓶一圓五十錢
寒き時は血液の循環が不良 特に次亞燐が必用
本舗 大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

醫學博士 室谷修太郎先生述 (萬戸必携の家庭參考書)
家庭衛生及び救急法
最新刊 一名 醫者のくるまで 定價金五錢 郵税二錢
室谷先生は本書の冒頭に左の如くお話されました「家庭に於ける衛生及救急法に就ては申上くることは仲々に多いが大要を記載することにした、幸に御一讀を賜り各自衛生の保全に勉めらる、なれば此の上もない。猶豫め知り置かれたとて別段御損にもならない事かと思ふ」醫者の來るまで素人の救急法は本書を置いて他に之れに優るものはない。室谷先生の御話の一端を拜借して萬戸必携の珍寶として江湖の家庭にお勸め致します
家庭博覽會内の賣店及市内各書肆で實費を以て御頒ち致します部數に限りありますから至急御買求を願ひます
發行所 京城大平通一丁目 振替口座京城三〇〇番 京城日報社代理部

醇良清酒
醸造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎
特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎
同 本町三丁目 明治屋支店



瀬戸皮膚科醫院
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀬戸潔
診察夜九時まで
(電話二四九八番)

大阪商船仁川出帆
○中國四國沿岸各港行一割引を以て通筋切符
○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 宮島丸 十二月四日 午後五時出帆 京城丸 十二月七日 [illegible]
○木浦、釜山、長崎行 安東丸 十二月九日 天智丸 十二月五日 午後二時出帆
○鎮南浦、大連行 安東丸 天智丸 十二月五日 十二月十三日 午後二時出帆
○木浦神戸大阪行 湖州丸 十二月 午後九時
○群山、釜山、裡浜行 千珠丸 チヨイサン丸 十二月十九日 十二月八日 午後四時出帆
○大連直行 千珠丸 チヨイサン丸 十二月十四日 十二月三日 正午出帆
○清津、浦潮行(元山出帆) 久宮丸 地大神丸 十二月十八日 十二月十四日 午後三時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 新高丸 十二月四日 十二月十七日 午前十時出帆
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二一〇番 京城切符發賣所 内國通運會社支店

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 秀吉丸 十二月 若の代丸 十二月 神代丸 十二月 大有丸 十二月二 日後四時出帆
第二太湖丸 十二月五 ○群山、大阪行 土海丸 日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連、秦皇島行 高砂丸 十二月十八日 正午出帆 三河丸 十二月十二日 正午出帆
○大連、太沽行 相模丸 十一月 日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部

朝鮮郵船 出帆
全羅丸 京畿丸 黄海丸 成鏡丸 十二月十四日 十二月四日 十二月八日 十二月十八日 釜山發
穩城丸 昌平丸 鏡城丸 十二月九日 十二月三日 十二月五日 元山發
平壤丸 忠清丸 十二月十三日 十二月五日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
嘉島丸 十二月四日 釜山發
江陵丸 毎日 (釜山浦項)發
三浦丸 十二月四日 釜山發
海州丸 統營丸 巨濟丸 慶尚丸 毎日 釜山發
順天丸 三日目毎 木浦發
慶興丸 十二月七日 日本海發
公州丸 十二月二日 日本海發
公州丸 十二月 日本海發
宗信丸 十二月三日 仁川發
江原丸 十二月七日 仁川發
麗水丸 晋州丸 十二月六日 十二月一日 仁川發
全南丸 全陽丸 毎日午前 仁川發

共同汽船仁川出帆
第一共同丸 十二月三日 午後二時入 十二月五日 午前九時出帆
第二愉鶴丸 十二月 日 午後九時
第三共同丸 十二月一日 前入帆 出帆
[illegible]

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十二月十四日 後五時出帆
○元山城津浦潮行 小倉丸 十二月二日 後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十二月 日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 立神丸 十二月九日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十二月一日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十二月 日後六時出帆
○佐須奈、厳原、壹岐、博多行 天與丸 毎月二日九日廿六日 午後十時出帆
大池回漕部

京城日報
二日朝刊
(第二千九百六十號)
第三版

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金六拾五錢　郵税一ヶ月金拾五錢　郵送に限り前金　三ヶ月壹圓九拾錢　六ヶ月三圓七拾錢　▲郵券代用二割增
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲特別欄内一行金壹圓貳拾錢　▲指定所一行金拾錢增　▲三號活字の一行は二號活字同等
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　太平政太郎
發行所　京城大和町一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯　營業
振替貯金口座京城三〇〇番

不具者となりたる獨逸艦隊
巡洋艦殆ど殲滅す
獨の戰意なき理由

有力なる獨逸艦隊の北海に現はれ英佛艦隊は之れを追跡中との入電ありてより早くも北海に於て必ずや英佛艦隊と獨逸艦隊との一大遭遇海戰あるべしと期待されたるも既に約十日を經たる今日に於ても何等海戰の快報來らず果して獨逸艦隊が北海に出動せしやすら未だ明確ならず若し實際に出動せしも或は濃霧を利用し巧みに敵の目を晦まして何れかに逃走せしか又は英佛艦隊が濃霧の爲空しく長蛇を逸せしか其の何れなるかも無論判斷に困らざるを得ざるも

△獨逸海軍の現状 を見るに開戰前に比し其の勢力に於て實に隔世の感なくんばあらず殊に獨逸が取りたる戰艦保全の策は事實に於て大失敗に歸せしが如し彼が今や北海に於ける英國の海上封鎖をも打破し能はざるのみならず堂々一快戰を試むるの勇なきに至りしも畢竟茲に甚くべく今や獨逸艦隊は全くの不具者となり了んぬ即ち輕巡洋艦フラウエンロープ(二、六七二噸)は波羅的海に於て潜航艇に擊沈され裝甲巡洋艦プリンツアダルベルト(八、八五八噸)輕巡洋艦ウンダイネ(二、六七二噸)及び同フラウエンロープの三隻も亦獨逸海上運輸の唯一の

△安全圏内に於て 侵入したる英露潜航艇の爲約二箇月の間に獨逸商船三十餘隻と共に擊沈さるゝに至れり斯く直接の海戰以外に貿易關係の大任を有する巡洋艦の犠牲の大なるは先づ當然と見るを得べきも獨逸の失へる巡洋艦隻數は實に想像の以上にして今や第一線に利用せらるべきものは僅に五隻を算するのみとなりたりエムデン、ドレスデンを始めカールスルーヘ、マグデブルグの最新艦沈みケルン、マインツ、コルバーグの二十六節級殲滅しブレスロー賣られニユルンベルヒ、ゲーニヒブルヒ擊沈されアリアドネ、ヘラ、ブレーメン、ライプチツヒ、ガツエルレ、ガイゼル、コルモランも正に亡く即ち現時に於て第一線の巡洋艦はロストーク(四、八二二噸)ストラスブルグ(四、四七八噸)ストラルバシト(同上)グラデンツ(五、四四〇噸)オーグスブルグ(四、二八〇噸)の五隻のみ戰前の勢力に較ぶれば

△殆と隔世の觀を 催さしむ此の如く巡洋艦と輕巡洋艦との爲めに効用の大半を奪はれたる裝甲巡洋艦もシャルンホルスト、グナイゼウに依て一時虹の如き氣焔を吐きしも殲滅の運命更に悲しく代表的ブリユーヘル(一五、五〇〇噸)はドガーバングに屠られシャルンホルスト、グナイゼウはオークランドにて討たれヨーク(九、三五〇噸)は水雷に罹りフレデリツクヤール及びプリンツアダルベルド(八、八五八噸)も亦水雷に沈む所となり殘れるものは僅にヨークの姉妹艦たるルーン一隻のみとなれり其他にプリンス、ハインリツヒ、フルスト、ビスマーク、フレーヤ、ハンサ、ビネータの諸艦あるも皆老朽廢頽顧みるに足らずもとより英佛艦隊の敵に非ず斯くて獨逸の戰艦保全成功の半面には巡洋艦殲滅の大犠牲の存するは興味ある對象と共に獨逸海軍をして益々戰意なきに至らしめし一大原因たらずんば非ざる也

滿蒙開發と經濟(下)
◉滿鮮統一の本義◉

滿蒙に於ける中央銀行が、貨幣制度を統一せば、其の結果は如何。即ち、滿洲の貿易が順調ならんには、中央銀行は輸出超過に伴ひ增加する正貨準備に對して、多額の發行力を有する事となるべし。此の關係は、朝鮮が其の貿易は常に輸入超過にして、準備は增加せず、發行力の伸張甚だ不如意なるとは頗る趣を異にすと謂ふべし。斯くの如く滿洲が大豆の關係よりして、世界の金融市場に對して債權者たるの點のみを以てすら、中央銀行の仕事は甚だ容易となる。何となれば年々の輸出超過額に對して幾倍かの銀行券を發行するを得べく、然らば乃ち滿洲に對する資金は銀行制度の確立に依りて自から作り出さると謂ふも可なり。紊亂せる幣制を改革することは、幣制そのものを改革するを目的とするに非ず之に依りて直接間接に滿蒙の富源開發を促進するに至るべし。

開發資金の供給を他に仰ぐ事は、今日既に殆ど不可能なるのみならず將來と雖も甚だ困難なりと謂はざる可からず、歐洲の戰塵は何の日に消散すべきやを知らず、列國の戰費は恐ろしく嵩み、戰後の經營は素より長期に亘るべく、從來資金の供給國たりしものも、今後到底他を顧みるの餘地なかるべく、外資の輸入は短からぬ將來の期間、先づ絕望なり。故に滿蒙の開發に要する資金は、第一義として自作自給たるべし。而して此點に於て滿蒙は朝鮮よりは有利の立場に居る。朝鮮が輸出超過の趨勢を喜ぶの日は近きに在りとは、遺憾ながら想定する能はず。從て假りに朝鮮銀行が、最も有利なる事情に在るが爲めに、滿蒙の中央銀行たるの任務に當り、且つ開發資金充足の任に當るとせば之れが結果として、朝鮮開發の資も亦自然潤澤となるべきなり。

論者或は謂はむ、先づ朝鮮を開發して輸出超過たらしめ、依りて得たる資金を以て滿蒙の開發に著手すべしと。然れども吾人の意見は之に反し、滿蒙の開發によりて朝鮮の開發は更に有望なるを得べしとなす。其の理由は、若し滿鮮の經濟を打て一丸となすに於ては、資金は自から有無相通ずべく、滿洲に於て銀行券の增發せらるゝものは、軈て朝鮮を潤ほすべきや必せり。但し此の見解は、朝鮮銀行をして北進せしむることによりてのみ正當なる理由を有すべきものにして、他の場合に於て然るべき所以を想像する能はざる也。

滿洲の幣制を整理するには、鮮銀をして當らしむるを可とするは、多辯を要せず。曾て朝鮮に於て紊亂せる幣制を整理し、邦人の發展及び利權の扶植に盡して、能く殖民地銀行としての任務を完うしたる經驗と信用とを有する鮮銀をして、滿洲に於て恰かも類似の一大任務に服せしむるの最も妥當の策なるを否定し能はず。若し夫れ現在の資本金を以て小額なりとせば、業務の發展と共に之を二倍三倍することは容易の業にして問題とするに足らざる也。

最後に吾人は鮮銀當事者に希望すべき事あり。同行は今回大連の出張所を、滿洲に於ける總支店となし、最も適材を擇んで滿洲總支配人に任じ、益々滿蒙經營の步を進めんとする此事ある。吾人の欣快何ぞ堪へむ。然れども、將來鮮銀が其の支店網を如何に擴張せんとするや、未だ吾人の周知する處に非ずと雖も、即ぐが如くんば近く浦鹽並に哈爾賓に出店する計畫なりと云ふ。之れが實現の大に速かならんことを切望すると同時に、滿洲は素より蒙古地に亘りて縱令多少の捨石を覺悟するとも、此際一擧に支店を增設するに至らんことを望んで已まざる也。

京城雜筆
山縣生

△隣人の痼氣を頭痛に病むは確に一種の美德である、他の難儀に同情し、我も亦心を惱ます次第なれば全然排斥すべきに非らざるは勿論なれど、總て物には程度がある、適度を越ゆる時は善事も却て惡結果を生ずる場合も無いではない

△隣人の痼氣を病み過ごして、頭痛の種に病むにかゝるやうな事があつては頗る困る、況して痼氣の爺さん頑冥にして此方の好意を受けざるのみか、要らぬ御世話と我を怨むに至つては沙汰の限りで、これ以上の詰らぬ話は無い、西洋の諺の『慈愛は先づ家内に始まる』の通り、個人でも國家でも我を先にして然る後他に及ぼすが最も賢なる仕方である

△霞ケ關の御役人の御手際について今更言ふだけ野暮であるが、近來に至りて其特色が益々發揮さるゝは誠に嘆息の至りである、我國の外交家が其手腕を揮ふに自由なる今の時程都合の好い時は未だ曾て無い所だ然るに近來霞ケ關の爲す所益々出でて益々拙なるには呆れざるを得ぬ

△先般の對支交渉も餘り見事でなかつたが、近頃の對支警告に至つては隣人の痼氣を頭痛に病み過ぎたものといふ他はない、袁大總統が帝位に上らうが上るまいが、それが爲めに支那が騷亂が起らうが起るまいが、何も此方の關心つた事では無い、支那は要らぬ御世話と臆を立てゝ居るも尤もな次第だ

△近火があれば多少の迷惑を蒙るのが通常であるけれど、場合によると隣家の火災の爲めに、かねて眼觸りとなつて居た建物や何かが亡くなつて、此方に利益を受ける事もある、要は其火が此方に延燒するを防ぐにある

△帝政問題の爲めに、支那に騷ぎが起るとするも、我國は其飛火を防ぎ得るだけの實力は充分に在る、我國の商工業は一時多少の打擊を受くるならんも、これは永遠の利益の爲めに一時忍ばねばならぬ、且つ支那ばかりが我商工業の顧客ではない、何もさう心配するに及ばぬ

△若し支那が我警告を無視して國體變更を斷行した場合には如何する心算か、ハイさうですかで引込む譯にも行かず、さりとて我忠告を聞かぬとは不都合だと拳を上る譯にも行かぬ、やがて此デレンマに霞ケ關の陷るべきは火を睹るよりも明かである

△支那の聯合列國加盟の議は恐らく我國に對する對抗運動であらう、列國は支那より獨逸の勢力を驅逐するに焦心して居る、殊に英國は印度の安全を確保せんが爲めに、獨逸人を支那から排斥せんことを切望して居る、故に列國は對支警告の後馬に乘りは乘つたが、何時失敬するか計られたものでない、其時に馬鹿を見るのは我國だけだ

△霞ケ關の空氣を一新せねば我國の外交はいつ迄も頭を擡げることはあるまい、外交はそんなに難しいものとは思へぬ、常識に富みて、智慮深き人ならば、外交官は樂に勤まる筈である、米國の如きは大使や公使を辯護士や學者や新聞記者等から選拔して居る、そして皆立派に其職務を行うて居る、外交官の重ずる禮式や踊つたり跳ねたりする事の必要であつた時代は夙に過ぎた、霞ケ關の諸君はホテルの經營に當ることにして其位地を有能有爲の人に讓られては如何。

過慮する勿れ
東京　大隈生

○戰時の外交は平時の外交と同一に企圖することは能はず、如何となれば平時の外交は單に樽俎折衝の間に巧妙の手腕を施して成功を期し得れども戰時の外交は戰局の情況によつて左右せらるれば也。如何に巧妙の外交術を施すも、戰鬪の不利なる方は到底敗者の位置に立たざる可からず

○有體に云へば、巴爾幹の戰鬪聯合側に[illegible]なる爲めに、流石の英國も頗る狼狽の氣味あるものゝ如し、されど斯かる時には慌てる程失敗するものゆゑ、獨り英國のみならず、聯合國側には何卒愼重の態度を取りて貰ひ度きもの也

○波斯危殆に瀕し、印度に不穩の形勢あるゆゑに、支那も亦獨逸人の攪亂する所とならざるかと、聯合軍側にて憂惧するは一應尤もの次第なれども、是れ彼等が未だ日本に信頼する念慮深からざるより生じたる杞憂に過ぎず

○東洋の平和は日本の勢力にて充分之れを確保するを得べし、故に若し支那が自ら局外中立の宣言を破り特に獨墺軍の爲めに私して便利を圖るが如きことあらば、日本は列國と共に其の不當背信を鳴らし之れを制止すること甚だ易々たる業なり、支那を波斯や印度と同一視して無理に之れを聯合軍側に引き入れんとするは、畢竟三國過慮の企圖にあらざるなき乎。

○戰局益々擴大して、各方面の戰鬪聯合軍の不利漸く甚しきに至れば、敵は益々勢を得て流言蜚語を放ち、離間中傷を逞うす可し、されば此の際聯合軍は互に誠意を以て意思の疏通を謀り、其の結束を堅固にすること最も肝要なり。

○支那に於ける英露佛の立場と日本の立場とは大に異なるものあれば、三國の利なりと考ふることも日本に於て實際不利なるものなきにあらず、故に三國は何事も打ち明けて日本に相談し、日本も亦誠意を傾けて之れと謀議す可し、斯くすれば對支政策は專ら日本に信頼して可也。此の際最も愼む可きは互に猜疑心を狹むこと也、蓋し疑心生ずれば一致せず、一致せずして成功したるもの莫ければ也。

京日詩壇

觀盆池金魚　　安永　春雨

是發作池龍吐泉。游魚追逐晉堂前。喚喝掉尾影閃鑠。悠揚振鬣光鮮妍。江若如水夙愛之。漢城餌養占優先。自適工夫閱歲月。直至今日初忘筌。城中三冬凍徹地。地下六尺溫盆全。春風冰解移池日。欣欣有似龍在田。萬錢買苗京洛市。舟車三日路三千。瓶中震動大半死。一回輸送幾尾傳。畜之養之鑑祕訣。成長寸寸要一年。逐年增殖聞富貴。蕃尾相摩腹便便。公退日高無客到。小庭逍遙發吟肩。人樂即知魚亦樂。不須南北東西蓮。君見人生游戲耳。莊惠因此全其天。却笑呑舟逃滄海。不如甘餌游清漣。鱗不曾侵鉤不下。百年龍潛仍在淵。

評曰刻意細緻、寫狀明晰、中藏友于之情藹深厚、如水兄唱和一番、可無酬知己乎哉、

同上　　江原　如水

藻爲簾幙月爲賓。智碧乾坤不著塵。休笑我家阿堵物。蒲池金色甕鱗鱗。

評曰造語一見如太奇、而吾兄愛金魚、眞是實際之言、

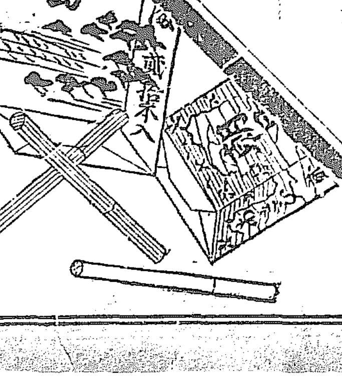
正誤　瑞光餘韻(六)十三行九字目より「二千八百年來」は「エヴ、ベートより來一千百年」の誤

專賣局煙草製品
懸賞品種目

一等	中帶又は友仙	二十四本
二等	片側帶	二十四本
三等	羽織裏又は襦袢の袖	四十八本
四等	置時計金庫洋傘鞄	七十二本
五等	敷島十四本宛	百九十二本
六等	硯箱靴下㊤卷莨箱	三百六十本
七等	ダリヤ十二包宛	九百六十本
八等	兎十包宛	六千本
九等	石鹼入、手柄、ナイフ、タオル 鏡、パイプ、靴下	九千六百本
十等	ハネビー、鉛筆、匙、呼子笛	四萬二千七百廿本
合計	六萬本	

到る處の煙草小賣店にて御買求被下必ず景品券御受取被下度候

京城　仁川
官煙販賣組合



年末　景品附大賣出し
空鑯一本もなし
賣出期間　大正四年十二月一日より同年十二月三十一日迄

賣出煙草
◎八千代　◎芙蓉　◎敷島　各一盒に付　景品券　貳枚宛
◎大和　◎武藏野　◎朝日　◎ダリヤ　◎ビユーチー　各一盒に付　景品券　壹枚宛
△抽籤期日　大正五年一月十日
△景品引換期間　自大正五年一月十一日　至同　一月三十一日
△景品引換場所　京城、黄金町京城官煙組合　仁川、新町仁川官煙組合

年末
御贈答用好適品

廿七議會開院式

第三十七帝國議會開院式は一日午前十一時貴族院に於て擧行せられたり

此の日　天皇陛下には豫て仰出されたる如く鹵簿一公式に依り午前十時三十分宮城御出門鷹司侍從長陪乘波多野宮相以下各供奉員を隨へさせられ近衞騎兵二箇中隊の儀仗警衞に依り御順路貴族院に著御、兩院議長以下の奉迎を受けさせられ便殿にて御少憩の間に御先著の各宮殿下に御對面あり次いで樞密院顧問官各大臣其他に謁を賜ふ是より先き兩院議員は各議長の御先導にて式場に整列し定刻十一時に至るや　陛下には各皇族殿下並に供奉員を隨へさせられ各員最敬禮の裡に式場に臨御、正面玉座に著御あらせらる此の時大隈首相代理一木內相は御前に進みて勅語を奉進し參らせば　陛下には御起立の上玉音朗かに左記の勅語を賜ふ德川議長は鞠躬如として前に進み勅語を拜受して列に復するや　陛下には各宮殿下を隨へさせられ諸員最敬禮の中に便殿に復御、御少憩の後還御仰出され各員奉送裡に御機嫌麗はしく宮城に還幸あらせられたり（東京特電）

勅語

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及ヒ衆議院議員ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ倍々深厚ニシテ英國トノ同盟及ヒ佛露兩國トノ協商ハ其ノ基礎愈々鞏固ナリ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正五年度ノ豫算案及ヒ各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ附セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

衆議院奉答文

恭シク惟ルニ車駕親臨シテ茲ニ第三十七帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ゲ

優渥ナル聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至リニ堪ヘズ臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ報イムコトヲ期ス

衆議院議長　臣島田三郎誠恐誠惶

下院開議

衆議院は開院式終了後開議議長は青森縣選出の池三郎（政友）大分縣選出の松田源治（政友）の兩氏を議場に紹介し今日を以て第三十七帝國議會開院式を擧行せられ勅語を賜はりたり依つて茲に奉答文の議事を開く可しと宣し先例に依り議長は起草委員十八名を指名し委員諸氏は直に議長室に集合し委員長理事の互選を行ひ起草せらる可しと告げ十一時四十分休憩せり

休憩後零時三十分再開議長は奉答文起草委員長片岡直温氏を麾く、片岡氏登壇、委員長理事互選の結果不肖委員長に當選せりと述べ別項奉答文を朗讀し滿場拍手全會一致起立贊成せり、次で元田肇氏は動議を提出す可しとて登壇し古の御大典は無事終了せられたるも宮中に於ては引續き觀兵觀艦其他の御儀あるを以て我々國民は敬虔の意を捧げ此日まで休會し奉祝の誠意を致さんとす願はくば滿場一致贊成せられんことを望むと述ぶるや武內作平氏登壇し余は元田君の休會說に贊する能はず我等は御儀式中と雖も國務に精勵するを以て奉公の至誠を致すものと信ず且つ豫算の審議期間は二十一日なるを以て休會せば是れが審査を充分ならしむる能はずとて休會說を反駁し降壇するや小川平吉氏休會贊成演說を試み川崎安之助氏亦休會に反對して小川氏の所論を反駁し

採決の結果休會少數にて否決となり書記官より諸般の報告ありて二日より開會することゝなり一時散會せり（東京特電）

樞密院會議

（例定）一日は樞密院會議定日なるを以て芳川副議長以下各顧問官は午後二時より相前後して登院、政府側より石井外相其他大臣參內、宮中會議室に參集するや副議長より天皇陛下の出御を奏請したるに陛下には鷹司侍從長を隨へさせられて出御に座に著かせらるゝと共に副議長より開會を宣し石井外相より單獨不媾和加入條約に關し報告する所あり政府と樞府の見解に就き互に意見の交換を爲し且つ質問應答するところあり了つて陛下は參列員最敬禮の裡に入御あらせられたり（東京特電）

東京發別電

▲岡陸相歸京 [illegible]

革命黨員に退去を命じたるに就し政府は英國の依賴に應じて處分をなし [illegible]

[illegible]攻略し破竹の勢を以て羅國を一を開くに廻[illegible]二十八叺にて其の[illegible]

三總務と外相

政友會の元田床次の兩總務・國民黨の犬養總務は一日開院式後院內の一室にて石井外相と會見したるが獨探印度人の取扱ひに關し非公式に質問を試みたり（東京特電）

宮內官の敍勳

一日宮內大臣を始め三十八名の宮內官に敍勳の御沙汰ありたり其の重なる者左の如し（東京特電）

敍勳一等授旭日大綬章（各通）

宮內大臣正三位勳一等男爵　波多野敬直
宮中顧問官從三位勳一等　齋藤桃太郎
宮中顧問官從二位勳一等侯爵　中山孝麿
陸軍中將從三位勳一等功四級　村木雅美
主馬頭正三位勳一等子爵　藤波言忠
宮中顧問官從二位勳一等男爵　池田謙齋

授旭日大綬章（各通）

宮中顧問官從二位勳二等子爵　高辻修長
同從三位勳二等　三島毅
同正三位勳二等子爵　北條氏恭
同正四位勳二等　西鄉吉義
同從三位勳二等男爵　岡玄卿

敍勳一等授瑞寶章（各通）

宮中顧問官從二位勳二等侯爵　木戶孝正
同從二位勳二等公爵　一條實輝

授旭日重光章（各通）

柳原局陞敍

一日柳原三位局に對し位階陞敍の御沙汰ありたり

敍從二位（特旨）　正三位　柳原愛子

右に付き同局に對し二位局と稱する事となる可しと（東京特電）

曾我子細川男敍位

一日左の如く敍位の御沙汰ありたり（東京特電）

敍正二位（各通）

樞密顧問官從一位勳一等文學博士男爵　細川潤次郎
樞密顧問官陸軍中將從二位勳一等子爵　曾我祐準

辻男爵敍位

貴族院議員男爵辻新次氏病氣危篤の趣き天聽に達し左の如く特旨敍位の御沙汰ありたり（東京特電）

敍從二位　正三位勳一等男爵授旭日大綬章　辻新次

海軍將官と豫備役

左記海軍將官に對し豫備役仰付けられたり（東京特電）

海軍中將　釜屋忠道
海軍中將　藤本秀四郎
海軍中將　矢島純吉
海軍中將　山縣文藏
海軍中將　吉見乾海
海軍少將　土山哲三
海軍少將　山田猶之助
海軍少將　大澤喜七郎
海軍機關少將　村田愛吉
海軍軍醫總監　中尾太一郎
海軍主計總監　藤田經孝
海軍造兵總監　瀨戶南次郎

豫備役被仰付（各通）

海軍將佐官進級

一日海軍に左の如く進級ありたり（東京特電）

任海軍中將（各通）

海軍少將從四位勳三等功三級　矢島純吉
海軍少將從四位勳二等功四級　山縣文藏
海軍少將從四位勳三等功四級　吉見乾海

任海軍少將（各通）

海軍大佐正五位勳三等功四級　水町元
海軍大佐從五位勳三等功四級　武田次郎

任海軍機關少將

海軍機關大佐從四位勳三等　鈴木富三

下旬對支貿易

十一月下旬の對支貿易は前旬に比し一割三分を減少して二千百三十五萬九千圓を示し輸入は一割五分增加して一千三百四十五萬一千圓となり結局七百九十萬八千圓の輸出超過を示せり（東京特電）

北京歸客談　帝政實施準備

一日商船湖南丸にて歸來せる北京東亞煙草會社出張所前田販賣主任の談に曰く帝政に關する準備に就ては宮殿の修繕九分通り進行を告げ正陽門は頗る莊嚴なる觀を呈し來れり其前に記念大通出來たり國名は『大中華帝國』とし國旗改制に就ては二說あるも龍を用ゐ紫色を配する說最も有力なり我國の警告に對しボイコットの起らざるは一般支那人は帝政には反對せざるも袁總統の帝位に即くは袁氏總統となりて課稅重くなりしに鑑み何れも反對を稱し居れるを以てなり黎元洪氏は近く北閑の幽閉より出づ可し北京市中に一戶を借受けたるも尙ほ監視附は免れざる可し湯化龍氏目下天津に在り近く來朝の筈なり（門司特電）

雜報

來年鐵道建設

新敷設無し‖滿會線改線

大正五年度に於ける朝鮮鐵道に關する豫算は既報の如くなるが內建設費五百七十萬圓が如何に使用せらるゝかに付き當局者は語りて曰く大正五年度に於ては更に新敷設の計畫なく唯繼續事業たる咸鏡線、淸津、會寧間（五九哩六）及び文川、永興間（三四哩一）の建設と湖南、京元兩線中の假工事を本工事に改築するにあり主として淸津會寧間の

▲建設難工事にして最初の豫定は大正三年冬一回變更せられ更に大正四年秋に至り變更の箇所生ずるに至れり是れ該地方の水害に據り河に沿ひたる線路の安全を期し山地に寄せたる爲め隧道掘鑿の必要生じたるものにして初め茂山嶺に七箇所の隧道掘鑿の豫定なりしものを富寧附近に一箇所虛通洞附近に二箇所の新隧道を增加する事となれり全巨里會寧間（一九哩餘）は未だ確定に至らざれど二箇所位の隧道掘鑿の必要生ずべく來年度に於ては淸津全巨里間工事繼續と同時に全巨里會寧間工事著手を見るに至るべし隧道全部貫通は大正五年度の終り迄の豫定なるが六年三月より或は多少早く貫通を見るべし富寧及び虛通洞のものは昨今漸く著手せるものにして富寧附近のものは三百二十三尺虛通洞附近のものは二百六十尺餘なり

▲永興文川間は既に大體の工事を終りたれば來年度に於て右殘工事及び線路敷設を爲すにて其竣工は本年十二月に見るに至るべし湖南線の建設は建設當時速成を期したる爲め自然橋梁、線路等に假工事を以て充當したる處多し萬頃江鐵橋（一千尺餘）の改築は來年度に施行すべき主なるものなるが戰爭の影響に據り橋桁初め鐵材暴騰せる爲め自然豫定の行動に出づる能はざりしものなるが之れ亦來年度には滿鐵より到著を見る筈に付施工せらるべし目下尙未定なれど松汀里附近に流るゝ黃龍江の鐵橋も右鐵材の都合により來年度に施工を見るやも計られず本線は既に大田裡里間の改築工事を終りたれば

▲來年度に於ては裡里扶餘間を專ら改築せらるべく改築工事の主なるものは線路の幅員狹きものを取擴げ地盤低きものを高上せしむる等の雜工事なり何れも來年度に於て施工せらるべく京元線は湖南線と其趣を異にし最初より線路橋梁に對しては本工事を行ひたるより湖南線の如き改築工事は無けれども現在にては充分なる設備にして元山築港竣成に伴ふ貨物發送狀況の發展に隨ひ增築を要すべき停車場設備乃至倉庫等多々あり急を要すべき問題にもあらざれど來年度に於ても多少施工せらるべきものなり

朝鮮の輕鐵

來年度に於る補助

朝鮮に於ける輕便鐵道及び電車は延長五十六哩五分にして其他工事中乃至許可を受けたる總延長は百五十三哩三分に達す之に對し鐵道局より大正四年度に於ては七萬三千三百圓餘の補給補助ありしが大正五年度に於ては八萬一千圓に增額せらるゝ事となれり是れ投資額六分に達する迄の額を補給補助するに當り次第に投資額增加に伴ふ補助金增加にして營業開始に至らざる時にても投資額へ六分相當の補助を爲すものなり京城電氣會社の電車（延長十六哩七分）朝鮮軌道會社（釜山）の電車及び輕鐵（延長五哩八分）等へは營業成績良好に付き別に補助を出さず來年度に於て補助支給のものは

全州裡里間　一五哩五分
松汀里光州間　八、四
大邱浦項間　五七、〇

にして內全州裡里間の輕鐵は現に營業開始なれど松汀里光州間のものは工事認可せられ居るものなれど期限內に工事竣工せざりし爲め認可取消を爲されたるものなり大邱浦項間のものは曩に朝鮮瓦電會社が經營せる釜山鎭東萊間のものを朝鮮軌道會社にて引繼ぎ之を釜山に延長し更に慶州に至らしめ之を丁字形を爲して大邱より浦項に至らしむるものにして第一期工事として大邱浦項間の工事來年度中に於て施行せらるべく目下同會社發企人等釜山に來り頻りに株式募集に付き奔走中なり

記念章拜受者

總督府にては各道の報告に基き大典記念章拜受有格者を調査中なりしが過般全部完了せるより一日午後當局に向け授與申請書を發送したり、申請人員中選擧を賜はりたる者七千七百十八名に對しては授與さる可きこと勿論なるも、其他大禮事務に從事せしものに對する授與の範圍は未だ確ならざれば果して申請人員の全部に下賜せらるゝや否やは未定なり

團隊長會議期

毎年東京に於て開會し來れる大正五年度各團隊長會議は大正五年二月二十一日より約二週間の豫定を以て開會する旨其筋に通報ありたるが今回其重要議題の內容を聞くに軍隊教育令の精神徹底の件機關銃並に通信術教育普及を圖る件なりと因に二週間の內一週間は團隊及び參謀會議なり

憲兵隊更迭

既報京城第二分隊は第一分隊と聯合せられたる結果第二分隊長中尉川元吉氏は開城分隊長に開城分隊長中尉上原嘉氏は義州憲兵隊附となり其他第二分隊內の分遣所長以下大部分は京城憲兵分隊附となり何れも一日附命令ありたり

創立委員會開會

京城商業會議所創立事務所に於ては一日午後一時より創立委員會を開き西村道彥、關繁太郞、釘本藤次郞、韓相龍、金漢奎、芮柏鍚の諸氏出席し從來の經過につき大村友之亟氏より報告する所ありたり

大觀兵日軍隊休暇

二日は東京に於て大觀兵式擧行せらるゝに付朝鮮駐劄軍司令部所屬一般軍衙は臨時休暇す

岡村技師の危篤

鐵道局工務課長岡村技師は過般京義線及び京元線々路敷設視察の爲出張中病氣に罹り二日來療養中なるが病氣は肺炎にて目下危篤なりと

[illegible]火すべしとして[illegible]せられ而か[illegible]邦商に密貿を申込むもの續出したる[illegible]は此程[illegible]罪にて訴へられ[illegible]

人事消息

▲井口軍司令官　大觀兵式參列の爲め東上中の處大觀兵式參列後歸任は十日頃
▲岡本參謀長（第九師團）　元山方面出張中の處四日比歸任
▲村瀨副參事　平壤驛長會議列席の處一日歸任
▲後仲鑛嚴老師　大邱及び釜山師學會に巡錫中の處三十日朝歸山

經濟界　共進會と京城（四）

▲花柳界の影響　共進會開會中花柳界は又異常の景氣を現出せり、花月、千代本、明月館を始め喜久家、淸華亭は連日連夜大小の宴會を引き受けざるなく、第二流の料亭に於ても宴會數少なきは仕出しに於て勝り、市內居住者は何れも一、二回は知己親戚の入京者を各種料理店に招待したる爲め、市民のこの方面に於ける、金錢消費額は比較的多大に上れるを認む、遠く鮮地內の田舍より上り來れる鮮人はもとより內地よりの入京者も亦內地人料理店等は勿論、明月館長春館等鮮人の經營に係る料理店に於て、新來者に取り珍奇なる妓生の歌舞を見て朝鮮の酒食を味ひたる者も尠少ならず、其他遊廓方面に於ても相當の繁昌を見たるを以て、此等關係者の年生との繁閑の程度等より見積りを爲す時は、共進會の爲め、外來者の此の方面に於ける消費額は少くとも三十萬圓を下らざりしが如し。

▲外來者の土產品　前述の如く內地人入京者三萬五千人は上流階級の人士大部を占めたるを以て、其購入品の如き或は數百金を投じて朝鮮骨董品を求めしもあり、其の他一般に多數の土產品を購入したれば、想ふに此の額一人平均十五圓を下らざるべく之を全人員より計上すれば三十七萬五千圓を算す。次に朝鮮人は富の程度低く、京鮮人中團體の如きは多少の金錢を所持したりしも、店舖に立ち寄る暇なく、從つて殆ど購入せざりし者さへありたりと雖も、單獨入京者は各相當の金錢は携帶し、或は自用の自轉車を購入したる者等ありたりと云ふ、鮮人間の此等購買情態、富の程度、携帶金額等より推測する時は一人平均一圓二十錢內外と見るを至當とすべし、而して之を入京鮮人數に乘ずる時は四十四萬四千圓となり內地入京者の其れとを加算する時は八十一萬九千圓となる、此の八十一萬九千圓中、外來者に依りて持ち去られたる、最も主要なる二三の商品に就きて調査するに、概して入京內地人は內地人の店舖に於て、鮮人は主として鮮人店舖に於て購入したるもの多きは嗜好、人情、風俗を異にせるに基因するものなるべし。

物品拂下廣告

第一號　卓子、椅子其他
第二號　印材及印肉類
第三號　地下足袋、風呂敷其他
第四號　ラケツト、空氣入ポンプ其他
第五號　藥品
第六號　菓子、香口
第七號　駄細[illegible]
第八號　ホーツキ型其他
第九號　柳行李、籠
第十號　洋紙
第十一號　化粧品其他
第十二號　掛時計
第十三號　カタン糸其他
第十四號　提燈側其他
第十五號　葉煙草
第十六號　三味線、袋（天袋）
第十七號　帽子類

右來ル十二月三日午後一時京城稅關出張所ニ於テ入札ス
大正四年十一月十九日
仁川稅關

京日案內

◎普通　一回前金三十錢（無割引）假名一回毎に金五錢增

◎生徒募集　國語文法英語數學懇切叮嚀に敎授す呈規則書　京城本町五丁目八六番　▲育英學舍　106

◎事務員　高等敎育ある者至急雇入度し自筆の履歷書携帶本人來談　京城太平通二丁目　▲朝鮮公論社　105

◎印章名刺の注文取外交員入用市內に確實保證人ある者に限る　京城大漢門前（盛文堂隣）◎富田紫軒　101

◎貸金　官吏會社員の御方へ小口信用秘密一報次第伺ひ候　京城大和町三不老湯前橫丁　惠木屋　94

◎貸家　日本建溫突付三室至極閑靜　管理者　向漢陽公園南裏　龍山印刷局先　畑中　79

◎番外　一回前金六十錢（無割引）假名一回毎に金十錢增

梅毒　產婦人科　肺結核　內科　外科　◎診察夜九時迄　◎往復電車の便有　黃金遊園前電車通　電話二九三四番　上野醫院　97

◎質　○秘密を守り精々勉強　○仕切り親切に取扱申候　黃金遊園前電車停留所橫入　電話二二一番　金子質店　96

◎盛花元祖は　明治町本通　常廣春道齋　95

內科　胃腸　呼吸器　專門　兒科　病院　京城本町二丁目元中島病院跡（入院隨意）　電話二八八番　山田醫院　81

恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地　京城日報社北右に入　電話二二八三番　國江商會　104

◎質屋　支那領事館通移轉從前同樣御引立願上候　十歲新築確質に御扱可致候　黃金町二丁目長橋通入　電話二九一六番　田村質店　902

梅毒　肺結核　內科　外科　診察夜九時迄　◎隔離及普通病室有　壽町（本町二丁目右入）　電話二七三六番　島崎病院　87

恩給年金類　低利長期立換短期無保險地方在住者上京に不及便法あり其他擔保信用貸仕候　京城南大門外御成町　山口屋　98

恩給年金退隱料長期即時取引來十二月廿五日迄二萬圓限度貸付千圓以上特別契約　黃金町通櫻井町入西四ツ角　電話一一三一番　博多屋本店　856

◎得意廻員入用　年齡十八歲以上廿歲迄身體强壯なる者採用す但確實なる保證人二名を要す　京城南大門通二丁目　大塚支店　92

十二月六日より　同三十一日まで　最も好評なる　福袋は

歲末大賣出し

御買上金額壹圓毎に進呈致します

京城明治町　唐川吳服店　電話二六一番

せり昨今陸相の……

印度革黨退去の難　印度

▲……兵式の天氣は晴朗の見込なりと

▲塞國遂に滅亡　獨軍は遂に

大阪

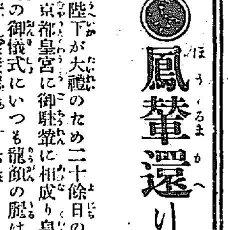
◎……大商戰……

◎七月檢米成績……査所に於ける改正規則實施後十一月一日より同三十日に至る檢米成績……分以上のもの三百四十五叺俵裝の不良なりしもの二百六十三叺なりしと

……國……の壓迫……若し違反すれ……らざりしが其後物貨拂底するに及び

……生れ當時江華郡松海面中坪里農業金……龍順(一九)同里……業金昌先妻黃氏(一八)……黃氏力は赤貧なる爲め……一つ買ひ得ざるより黃氏は龍順に向ひ衣類を……

……年十月初より十一月二十六日迄に夫の不在を覗ひ不義を重ね最初の目的は遂したるも去月二十六日夫が突然歸宅し現場を取押へられたるなり



冬籠り研究

（二）酷寒中に野菜果物の栽培

『冬籠り！』と云ふ光景を最も明らかに適切に其の外形に現はして居るのは冬枯れの百姓家を措いて他に見ることは難かしいであらう、植付けの春から夏の草取りから收穫のある秋までに較べると普通一般米作專門の農家でも冬は

■極めて閑散な

ものだが、其れでも未だ收穫の多くは此季節に於て處分さるゝのだから仕事もあれば又懐合ひの暖かい譯、併し京城近郊の蔬菜專門の農家の冬は實に慘めなものだ收穫もなければ仕事もない地下三尺も凍つて了まつては京城でも仕事の出來たものでない、京城市内の需要する蔬菜の供給者たる蔬菜專門の農家は纛島、光熙門外、東大門外、麻浦、龍山を合して三百戸以上に達して居る、之等の蔬菜農家は冬三箇月の間は殆んど閑散

■無職の有樣で

冬籠りをするのである、農家自身に於ても冬季の副業に就いては考へぬではない、否會ふ人毎に好き仕事もがなと尋ねて居るのである、併し數年の冬を過した之等の農家にして此冬の家計を支へ得る副業を有して居るものは殆んどない、唯消極的に生活費の低減を圖つて、來る春作を樂みに短かい冬の日も極めて長い思いで待ち暮すのである纛島の勸業模範場長久次米氏なども久しい以前から冬季

■副業に就いて

は考究せられて居たものだ、京城の市中に供給さる、蔬菜は内地の地方に較べると進歩した所もあるが一方遲々たるものである、殊に冬季に於て之れを見るのだ、内地で流行しつゝある速成蔬菜は京城に於ては認められて居ない、冬季南大門の市場に陳列さるゝ多くの蔬菜は下關物である、此移入蔬菜を防いで朝鮮物を供給する方法はないであらうか、纛島の模範場では速成の實驗を示して

■零下二十度の

朝鮮の冬の眞最中に青々とした蔬菜や赤々とした苺の出來ることを實地に見せて居るではないか京城近郊の農家の家屋は多くは冬籠りに適した家が多いから生活上には餘まりに困らぬから、農家冬籠りとしては冬季中の速成栽培法を研究するを怠つてはならぬと思ふ

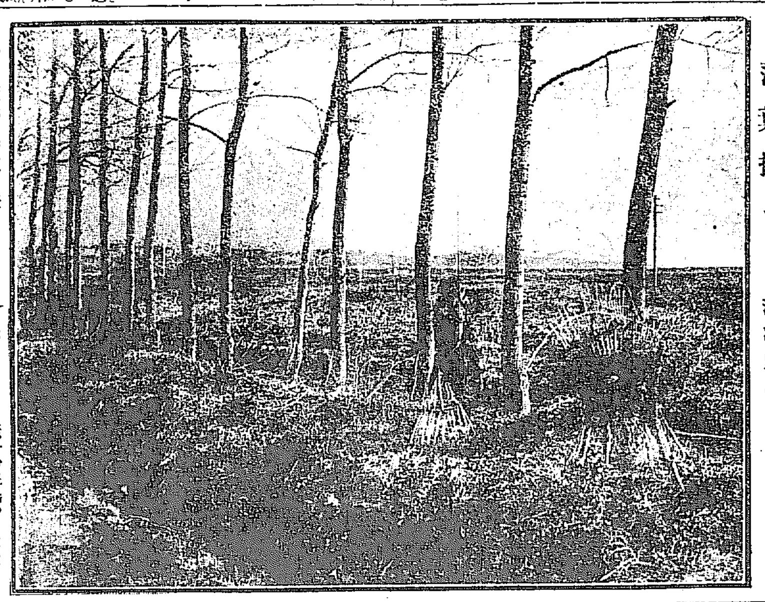
◎鳳輦還りまして

京都の宮居は靜けくこそ

聖上陛下が大禮のため二十餘日の久しき京都皇宮に御駐輦に相成り皇宮以外の御儀式にいつも龍顏の麗はしきを拜し祝福申上げた衆庶は二十七日御還幸になつたあと切めてもの餘光をと建禮門前に打ち集ひ開かれた御門の内に

▲朱塗の承明門や

紫宸殿……



落葉掻き――淸涼里にて

いふ顏付、春興殿に奉仕した内掌典は已に引揚げ掌典部員も僅に京都宮住の掌典が後片付をして居るのみである、皇宮内は

▲夕暮から平常の

靜けさに歸つて皇宮警手等は多忙なりし御大禮の當時を追懷し御苑内東北の東馬場には取殘された馬匹が寂げに秣

を喰つてゐる丸太橋西詰の大禮使自動車置場もガランと寂しく皇后殿に設けられた大禮使事務室も大部分の事務員は引揚げて僅に殘務を取つて居る人達を殘すのみ、内匠寮も大部分は引揚げて「衆庶が式場拜觀」準備の爲め十名程の人が取殘され皇宮や御苑には次第々々に大禮の氣分が斯して消えて了ふのであつた（大阪支局）

の帽額や南庭の舗設を拜せらるゝのを見て感泣して居る者も尠くなかつた、京都驛御發輦と同時に建禮門はピッタリ閉つて此の日の名殘はそれで濟んでしまつた臺所門の大玄關には宮内省の小者が運送店員を督し御荷物をドシ〳〵運んで居るが何分にも其の數が夥しいので三十日一杯かかつた、皇宮警手も大役が濟んだと

◎慾にからんだ犯罪　今日此頃は困つたもの

世がせち辛くなつて來ると、兎角に生活難といふことに惱はれ、隨つて就職難といふ問題に攻められ、相當の學力と技能とを有つてゐるものでさへ適當な口は愚か、差當り

■身を簇める所

さへ見附からぬ、有爲な靑年が爲すこともなく遊んでゐる、現在京城は丁度内地同樣の生存競爭で、無職の徒貧してゐるものが尠くない、恁うした世の進運と共に自然の趨勢であらうが、其れでも朝鮮は之を内地に較べたらまだ〳〵實生活が割合に容易である、けれども

■社交に長じた

ものになると其遣り方一つで自己を兎角に操つて行けるのであるものは、現在京城に唯遊んでゐる内地人の無職者は一千名から居る、是等のものは下等な下宿屋か或は朝鮮人の安宿に足を止めて就職口を求めてゐるが中には詮方なしに放埒に賭博などで日を過してゐるものもある、恁うした者の中でも犯罪をなすものと

■貧に安んじて

惡事を働かぬものとの別がある、一體に犯罪なるものも自然の四季に隨つて其趣きを異にしてゐるので、色情に關する犯罪の姦通、嬰兒殺、誘拐、婦女略取、强姦等の如き女に關係の深いものは春に多く夏は總じて活動の時季であるためか殺伐の犯罪が多く傷害、暴行等が少くない次に昨今の秋から冬にかけては

■女に關係した

罪よりも生活上から慾にからんだ犯罪者が續出するのである、隨つて所謂小泥棒の最も多い時である、又强盜も尠くない、同じ强盜でも常業的のものと居直り的のものと二樣あるが、常業的のものになると强竊盜の別なく時季は選ばない、强盜と略取の如きは朝鮮人に頗る多く、内地人では横領詐僞

■又書僞造竊盜

なごが多數である、しかし朝鮮人も近來は智識的の犯罪が甚だ殖えて來た（某刑事の談）

◎火藥庫の賊　隙を窺て逸走せんとす

既電の如く習志野火藥庫に賊忍び入らんとせる今詳報を聞くに千葉縣習志野騎兵第十五聯隊裏門右側の土堤を乘越え二十六日夜の七時頃の宵闇に乘じて營内に忍び込まんとする者ありしを巡邏中の兵士が發見して聯隊本部に引渡せるに途中兵士の隙を覗ひ飛鳥の如く又も土堤を乘り越えて逃走せるより二宮憲兵分遣所にては直ちに非常線を張り同夜十時頃津田沼町大久保御料地中を漸く取押へ得たるが彼は東京府北豐島郡三河島村服部寅吉（三八）と云ひ某下士に至急面談を要する爲なりと云へる外何事も語らず何等か重大の秘密あるらしきより尚引續き取調中なりと（千葉）

◎一月場所の御免札が建つた　春相撲の景氣

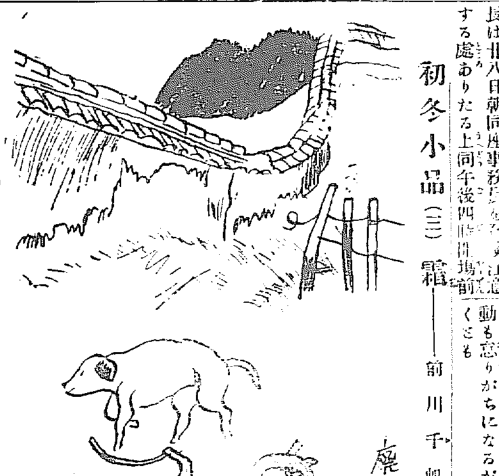
兩國橋の東詰と國技館前に去る二十七日の早天來春一月場所の御免札が建つたもうそろ〳〵相撲季が近付いて東兩國は日増しに活氣立つて來る一月場所の勸進元は陸奥音羽山二所の關花籠伊勢の海常盤山片男波八角の八人で陸奥音羽山は既に歸京して其他も

▲準備に取かゝり

柏戸の伊勢の海大鳴門の八角二力士を除く外は何れも多少歸京を早めて月上旬には歸つて來るであらう陸奥は力士名を西郷と云つて幕下の貧乏神まで進みながら遂に幕に入り損ね永い間十兩を往來して居た今の出羽の海常陸山が三十一年大阪から久々で歸り新參の初日に始めて顏を合した力士であつた音羽山は當門下で力士名を梅垣と名乘り十兩まで進んだ小手利きであつた今は副業に烏森で小槌と云ふ待合をして居る二所ノ關は二代目の海山太郎で關脇にまで進んだ當年の名力士、非常の腕力家で小手投げ合掌捻り等を得意とし嘗て全盛時代の常陸山を破つて驍名を馳たことがあつた花籠は近世

▲稀有の名力士と

稱へられた荒岩の後身で今は檢査員の職に在る荒岩時代からの人氣者且つは交際家であるから最負連の肩入れは又一層であらう伊勢の海は柏戸の二枚鑑札で斯道隨一の名門家である常盤山は行司木村庄三郎の年寄名で實父は横綱陣幕の方屋入りに露拂ひを勤めた鷲ケ濱と云ふ力士であつた片男波は先代の弟子で力士名を高鷲と云ひ位置は漸く幕下に上つたばかりであつたが温厚篤實の人物を見込まれて先代の娘の聟になつたのである八角



◎天勝の肉體美が問題になる　門司で差止め

門司市凱旋座に開演中なりし天勝一行は初日以來人氣を博しつゝありしが呼物のサロメ劇が筋と云ひ台詞と云ひ殊に天勝扮裝の肉體美が門司市の如き低級なる觀客には劣情を徴發すること甚だしく治安風紀上大に害あるものありとあつて門司署原田署長は廿八日朝同座事務員を召喚し注意する處ありたる上同午後四時閉場前

は大鳴門の二枚鑑札で檢査の鳴門背其他有力な後援團が非常に力を入れて居る（東京特信）

初冬小品（三）霜――前川千帆

鹿角の香れ

◎全州郵便局の新築落成式

（全州特電）豫て新築中の全州郵便局は愈々落成を告げ一日新廳舍に移轉事務を開始

◎寒風を突いて散歩せよ

寒さが日増に烈しくなると誰しも室内にのみ引籠り勝ちになるが之れは健康上甚だ宜しくない、寒暑を問はず云ふ迄もなく

▲適宜の運動

で運動を怠つて身體の强壯を圖らんとするなどは假令ば木によつて魚を求むるやうなものである、然るに大人は既に一日爲すべき職業があるから自然戸外運動を試むる時間が尠い、ソコで仕事に追はれて運動の時間の無い人は夕飯を畢へてから三十分間乃至一時間位戸外を散歩するのが最も適當なる運動法であると思ふ、左ればと云つて夏の夕まぐれに涼を趁うて散歩するのと違つて、之れから氣候が寒くなるとツイおつくうになつて自然運動も怠りがちになるが然し如何にくとも

◎有樂館のハムレット劇

一日夜より有樂館にて撮影大入の盛況を呈せるハムレットの活動寫眞は巨萬の資を費やし大英國の名優にして同皇帝陛下より『サア』の名譽位勳

命したりと（門司）

井上祭部同行同劇場に臨場天勝の扮裝を實驗の結果同扮裝を差止め肉體美を蔽ふべく腰部に布片を纏ふ樣嚴

▲勇氣を振て

歩調を早めドシ〳〵五六町も歩けば身體に温りが出ると共に筋肉も緊張して來るから寒くとも決して風邪をひくなどの憂ひはない、散歩は簡便に何時でも出來るが、寒風を突破し汗ばんで家に歸つたときの爽快さと云ふものは、迚も得も謂れない心持のいゝものだ

◎龍山普通學校開校式

龍山普通學校は本年九月より假校舍

業を開始し居るも校舍新築中に屬し爲めに今日迄開校式を擧げざりしが過回校舍も愈々落成せるを以て一日午前十時より新築校舍に於て開校式を擧行せり京畿道より檜垣道長官及び有賀内務部長、柳參與官、金谷京城府尹、總督府かは弓削學務課長、大塚視學等列席同十一時半式を終れり

◎印刷職工表彰會

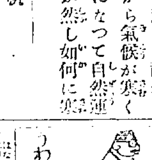
京城印刷業組合精勵職工表彰會は來る十一日京城日本人商業會議所樓上に於て擧行

◎害鳥驅除の成績

京畿道管内にて本春一月以來府尹郡守督勵の下に雀の驅除を行はしめたる九月末までの成績を聞くに雀及び雛は三百八十六萬六千九百九十三羽にして卵は二百三十六萬七千百三十四顆計六百二十三萬四千百二十七なりと

◎東… の景品附賣出……

◎織居時計店の抽籤……



▲共進會が閉會した今日尚ほ光化門通りに安閑と寒風に晒されて居る時計塔に就て面白い話がある▲彼の高塔は最初各方面の廣告を募る計畫であつた所が計畫者の吉見某と木村某との間に爭ひが生じてオジャン▲遂に大阪の仁丹に泣きを入れて二千圓とかの廣告料を取り辛うじて高塔も出來た▲所が仁丹との交渉は五十日間位に二千圓は丹に合はぬからして少なくも三年位は高塔を保存して置いて貰ひたいと要求した▲木村某も其邊は何んとなる委細承知仕ると云ふ譯で契約が出來たものである▲然るに閉會後其筋の意嚮を伺つて見るとあんな物は早々取拂へとのこと▲左ればとて仁丹側も仲々承知せず目下いろ〳〵研究中とか▲例の問題になつた演藝館も金の力と女の力で引張り合であつたが賞金の力や勝りけん遂に田村義次郎氏の手に落ちた▲それも尙ほ未練があると見えて二三日來番と田村氏との間に交渉中であるそうな▲藝妓の一人曰く『若し私等の手に落ちなけりや女の一念日に物見せて上げますから』と桑原々々

東洋一の魁（新式流行）
内田式ストロンク製は堅牢優美、價格一割久保證す
御旅行用　靴と鞄
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角
內田靴鞄製造問屋
電話一五五一、振替一八〇一七

滿蒙處分論　定價金一圓　郵稅金六錢
クロパトキン將軍原著　有木大井包孝……
發賣所　京城日報代理部　振替貯金京城三〇番

新刊書御案內

書名	著者	定價
帝國憲法論	市村光恵	三、〇〇
大日本發達史	長尾永久郎	一、五〇
航空機	現代叢書	一、〇〇
現代式廣告文句	井關十二郎	三〇
心靈學講話	高橋五郎	八五
人心收攬術	川崎正純	六〇
腦を害さぬ勉強法	菅尾博士	五〇
實用諸算法	石橋輝吉	二五
シェイクスピア物語	勝田孝興	一、二〇
第四讀本研究	寶安熊本	一、二〇
廣告と販賣	佐々木十九	七五
撞球指南	玉乃一熊	一、二〇
ドンキホーテ	二瀬島村抱月	一、四〇
現代書生學	江口	六、四〇
椎園家集	海上胤平	一、五〇
縮刷それから	漱石	一、四〇
雪の夜がたり	長田幹彦	九〇
金剛草	漱石	八五
うきよ草	春葉	一、二〇
放言錄	六浪	一、二〇
縮刷社會と自分	漱石	一、二〇
根氣の世の中	蘆川	一、二〇
朝鮮名勝詩選	成島	一、二〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八、振替京城二五七

源平しるこ　二椀十錢
乃木餅御用
午前八時迄御購求の方は一個五厘引
そば饅頭●きなこまんぢゆう●おはぎ●くしぬきだんご●燒餅●薩摩名產かるかん
明治町二丁目やそ寺前通長崎名物屋

轟號無鷄頭貳連獵銃
舶來ツアイストス銃身三重止
賣價金四十二圓
銅牌受賞
獵銃獵用具散彈
火藥雷管爆藥類
卸小賣廉價販賣
東京市日本橋區本銀町二丁目
川口屋林銃砲火藥店
電話本局（九百二十番・千七十五番）
振替口座三九一一番

最上　醬油　（印クハキ）

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品ハキク醬油
釀造高全國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
京城特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番

千生瓢 (57)

須藤南翠作 筒井年峰畫

第一戰(十)

山路將監の名乘りを聞いて、烈火の如く憤つたのは、辻喜太夫、市浦六藏の二將である。敵が長柄の槍を揃へて、床越に突きかゝるを見て、辻喜太夫は大音に呼はつた。

『武士は死後の名が大事ぢや。殿輩何で槍が怖いぞ。其ほど槍が恐しくば、何とて軍の陣へは出たぞ。恥を知らぬ腰拔は、遠慮は入らぬ、疾く落ちよ』

大手を廣げて、突出す敵の槍を摑ひ取り〳〵、大膽不敵に働らくので、兵士も勢ひを盛り返し、一歩も去らじと奮戰した。

市浦六藏乙を見て、呵々とうち笑ひ

『美事おざる、喜太夫殿、我等も左樣に働らき申さう』と、馬にひらりと跨つた。

六藏は鎌十文字槍の一丈に餘るを、劉々と素扱き試み、輕々と小脇にかい込んで、柵門を開かせたり、馬を驅つて敵陣に馳け向つた。

『やあ、山路殿、市浦六藏鎧にお見識申しておざるは。柴田殿へ降參の引出物に、御不足かは存せぬが、此首級取つて見參に入らせられい。生憎竹槍の用意おざらねば、武器の汚れとは存ずれど、家重代の鎌槍にて御相手仕らう。御馬を近うお寄せなされや』

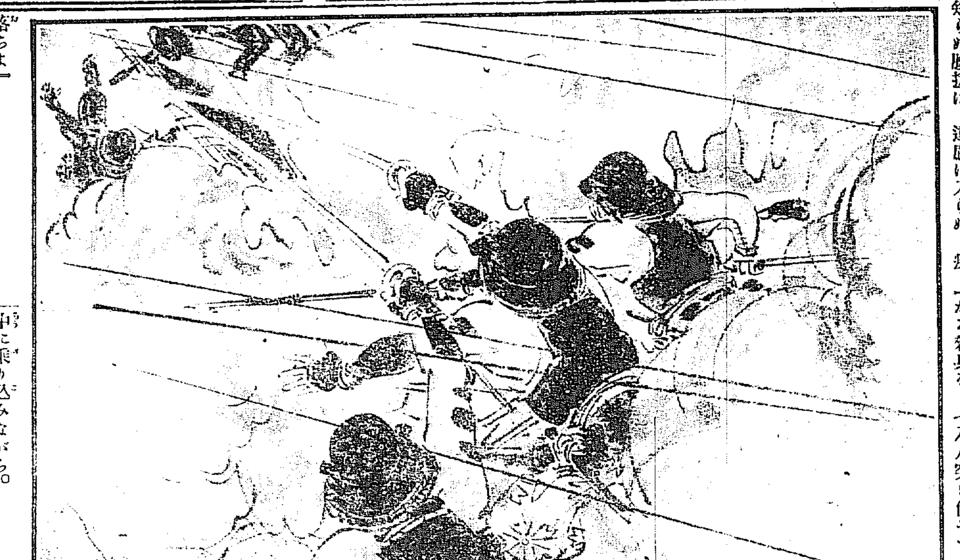
大音に罵り辱しめて、鎌十文字をひつ扱ぎ、驀々地に突きかゝる。正國馬を立て直して、槍を交へるかと思ひの外、忽ち引つ外して一鞭當て、敵を棄て逃げ出した。六藏は前に塞がる雜兵を、七八人突き伏せて、敵中に乗り込みながら。

「山路は何處に在る。將監何處ぞ。出合へ〳〵」と呼はつて、縱横無盡に突き立てる。

山路の勢は、市浦に突き崩されて進み得ず、颯とばかりに引き退く。拜郷交つて勢を進め、

『城は間もなく落るわよ。五左衞門久盈これに在り。慓れ者共、進め者共』と聲を限りに勵した。

是にて足を踏み緒めた北國勢、頽勢を盛り返して、前に塞る市浦六藏をおつ取り込み、唯だ一揉みと擊つてかゝる。六藏更に怯む色なく、鎌十文字の鮮血をうち揮り〳〵、當るを幸ひ突き伏せ、薙ぎ捨て、獅子王の暴れたる如くに、支へて一歩も進ませなかつた。



双方の鬨の聲は、天に溺り、谷に響き、端なく中川瀨兵衞清秀の耳を劈いた。此時清秀は、二度まで佐久間に渡り合つて、勇氣勃々として湧き出し、頻りに盛政を狙ひ寄る所であつたが、辻、古田、市浦等の防戰全く望みなきとにはあらねも、秀吉より預けられた砦、若し敵に落されてはとの懸念から、今少し陣を退いて、砦と聲息を相通ずる便を得やうと、且つ戰ひ、且つ退くに、機敏の盛政それと見て、劇しく下知を傳へつゝ、附け入り〳〵擊ちかゝつた。

中川が一族七兵衞、新十郎、小右衞門、淵之助、並に郎等古田喜助、同苗喜八等、いづれも槍の穗先を揃へて、近く者は突き伏せんと、勢ひ鋭く攻めつけた。一騎當千の猛者輩の死を決めたる槍先とて、流石の佐久間勢も容易は進まれず、暫し控へて揉み立てる。

清秀はこの間に思ふ所に陣を退いた。見れば拜郷五左衞門の、市浦に支へられて、喚き叫んで戰つてゐる。急ぎ古田喜助を呼戻して、横さまに拜郷に擊ちかゝらせた。拜郷も去る者なれば、腹背に敵を受けては叶はじと思つて、咄嗟の間に陣形を轉じ清秀の側面に迂回する、斯くと見た山路正國も勢を纏めて、同じく側面に出で、包圍んで當らうとするのであつた。

『拜郷山路等、この清秀を包まうとや。其義ならば、先づ一泡吹かして取らさう』

清秀は莞爾と笑つて、中川七兵衞、同苗新十郎、古田喜助を左右に隨へ、拜郷山路が今、迂回し切らぬうちに、却つて敵の後を扼して、哄と喊いて突き立てた。

年末の贈答品には 實用向きの ちゝぶ銘仙 珍柄豊富 京城本町二丁目 ちゝぶや

新刊紹介

▲うき世(卷の一 柳川春葉著)春葉氏が目下大阪每日新聞及び東京日々新聞に執筆喝采を得つゝある所載の分即ち百度登より女客を收めたるものにて延期氏の挿畫を始め大正裝幀的裝釘は巧に凝つたものなり(一圓二十錢東京日本橋區本石町三玄誠堂書房)

▲怪美人(宮地竹峰著)舞臺は日本より支那に移り大賊現はれ遊俠現はれ大探偵現はれ怪美人と一圖學士との鬪物活劇寫眞にでもありし相な肩の凝らぬ面白きものなり(八十錢東京神田區駿河臺鈴木町佐藤出版部)

▲廣告と販賣(佐々木十九著)近來商業の發達に伴ひ廣告と販賣術の進歩せるは驚くべき程なるが本書は平易に學術的に其等の方法を詳說せしものなれば會社商店其他各商業者の好參考書たり(一圓二十錢東京神田區駿河臺鈴木町十六佐藤出版部)

月やく 月やくなきに御心配の方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法速に御知らせ致す 東京神田錦町三ノ一九 窪田けい子

大阪三品
▲一日前場 十二月限 一二三、六〇 一二三、二〇 一月限 一二四、六〇 一二四、〇〇
十二月限 一二三、九〇 一二三、六〇 一月限 一二三、五〇 一二三、五〇 二月限 一二五、〇〇 一二四、四〇 三月限 一二五、七〇 一二五、七〇 四月限 [illegible]
▲一日後場 大阪前止五十九錢後寄四十六錢の入寄にて當地中十圓〇二錢より九十三錢と崩れたるも買物多く十六錢と跳ね返し十錢丁度引先徐に八十五錢と十三錢安に寄付たるも賣物多く七十五錢と五錢したるが大阪五圓五十九錢六十一錢の高移りに買物頻に[illegible]
買二千四百石賣二千七百石 買五百石賣千五百買金九百石賣五百石 買二千三百石賣四千石 買百石賣五百石買
▲後場下押す 前場不變の調先大阪の下落を受けて[illegible]
あるが大體に於て銀貨の三寶であるから如何な動機に[illegible]買越す說も藝計市況は爲に無迷ひを生じ買物多く大阪の十五圓六十二錢に比し買に四百八十一丁の大下鞘である如何今後の成行識果して如何
▲本日の現物界 [illegible]の惑に打たれて注目を惹いた保合よりも賣勢に買り込み來つたが一面賣勢に買うた三寶に對し[illegible]の買物が目立つたのである
▲後場 中限[illegible] [illegible]
寄付 後止 〆 十圓八十五錢 十圓八十五錢
[illegible] 十圓八十六錢 十圓七十五錢
十二月限 一月限 二月限

家庭に於ける絶好讀物

松林伯知 桃川如燕 講演

御前講談 全一册 定價金七十五錢 郵稅金十錢

好評再版

本書は近世講談社會の泰斗たる故の松林伯圓、桃川如燕の二人が、曾て辱くも先帝陛下の御前に於て口演し、御嘉賞を蒙りたる講談楠正成、楠泣男、長篠籠城鳥居强右衞門、山內一豐の內室、大閤中國引返し、伏見地震加藤清正、木村長門守、中山大納言の八種を、その高弟たる松林伯知、二代目如燕が更に講演したるものなり。悉く是れ忠烈の美談にして、此を讀みて感動せざる者なかるべく、通俗教育の資料として、家庭の讀物として當時此書に勝れる講談なかるべし。

好評又重版

日本武士道 赤穗義士 早川貞水講演 全六册 定價一册金四十五錢 郵稅一册金六錢

(第一編)堀部安兵衞、大石瀨左衞門。
(第二編)勝田新左衞門、三村治郎右衞門、岡島八十右衞門、間重次郎、千馬三郎兵衞、赤埴源藏。
(第三編)杉野重平次。前原伊助、横川勘平、神崎與五郎、矢頭右衞門七、倉橋傳助、早水藤左衞門、茅野三平、武林唯七。
(第四編)大高源吾、原惣右衞門、磯貝十郎左衞門、吉田忠左衞門、中村勘助、松村父子、片岡源五右衞門、岡野金右衞門、矢田五郎右衞門、木村岡右衞門。
(第五編)大石內藏之助、近松勘六、間喜兵衞父子、菅谷半之丞、小野寺幸右衞門、貝賀彌左衞門、奥田父子、小野寺重內、富森助右衞門。
(第六編)義士誠忠錄、赤穗城渡、南部坂雪の別れ、泉岳寺評定、討入。

本書は最も信憑すべき資料を基とし、之に貞水獨得の輕妙洒脫の快辯を以て、月雪の中に命を捨て、死處を得たる四十七士の面目を、面白可笑しく說きたるもの、平易通俗にして分り易ければ、婦女老幼の讀物としては上乘無二なるのみならず、芳烈悲壯なる言句人を魅して、感慨胸に迫り九腸寸斷の思ひあらしむ。本社は通俗教育の好資料として、之を各階級の家庭に推薦す。希くは一本を藏せられよと云爾。

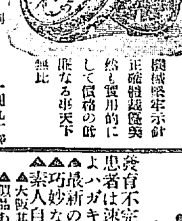
好評三版

女義士傳 桃川如燕講演 全一册 定價金五十錢 郵稅金八錢

天下泰平の元祿時代に、我兒を勵まし夫を勵まし、亡君の爲に家來たる道を盡さしめたる赤穗浪士の母や妻女は、其時代には新らしい女であつたに相違御座いませんこは、講演者の言ふ所なり、堀部彌兵衞の妻、堀部妙海尼、勘平の姉菊江、瑤泉院、武林唯七の母、赤埴源藏の妹、茅野和助の妻、原惣右衞門の母、間新六の伯母、山岡覺兵衞の妻、良雄妾かる、以上十一人の賢母節婦が花も實もある、勇ましく面白き物語りにして、女子の鑑として千載に傳ふべき好書なり。

▲郵稅本社負擔▼

發賣所 京城大和町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部



●新荷着アンクル式片側懐中時計●

機械堅牢示針正確體裁優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比

[illegible]

有名品今回新荷着の爲め[illegible]

時計蓄音器、ミシン機械自轉車、洋酒、各國食料品直輸入商

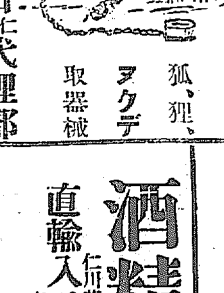
イングレッシー商會

店 京城本町二丁目電話九七二番

最上醬油

朝鮮仁川港

高杉醬油釀造場



米國ビクタートラップ會社製

獸類捕獲器 壹個 壹圓五十錢

狐、狸、ヌクテ 取器械

仁川濱町 京日仁川代理部

生殖器の短小

發育不完全、包莖、陰萎、遺精、早漏、勃起衰弱、交接不能、腦神經衰弱等の患者は速に自宅で秘密に眞空療法を施し强健になる空前の奇効を知られよハガキで照會次第博士證明の(眞空療法解說)圖入を無代密送す

▲最新の學理は獨逸ボーン大學教授アウグスト博士の發表

▲巧妙なる治療器は日本政府の新案特許器にして最も完全なる治療器也

▲素人自宅秘密用効力一回毎に目に見へて實驗諸氏の賞讃湧くが如し

▲大阪其他好商の類似品あり御警戒せよ

東京神田かぢ町五 電話神田七三三番 東京眞空療法研究所

優等淸酒

醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店

發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番

期節物廣告

○荒卷鮭○數之子棒鱈○鮭筋子○鰹節○味の素○諸罐詰○乾物類

右例年の通精良品充分取揃居候間何卒多少に不拘御用命願上候

○鰹節味の素は化粧箱各種取揃居候

○相場表は御一報次第御送付申上候

京城南大門市場 食料品問屋 辻本商店

電略(ツ)電話長七五番六四一番 京城振替貯金口座(三八番)

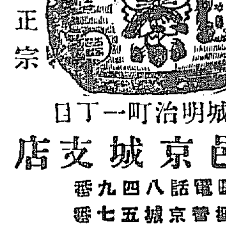
婦人科 産科 入院分娩應需

京城旭町壹丁目 院主 衣笠茂

中央婦人病院 (電話二三四〇番)

比較は最良の撰擇法なり?

サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城五七番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

★ 株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話長五八番 振替貯金京城一九四番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候

爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

酒精アルコール

直輸入元 仁川花町(電話六五〇番)電略(サ)振替口座京城五八二番 坂倉伊平商店

京城吉野町一丁目(電話二四四一番) 坂倉伊平支店